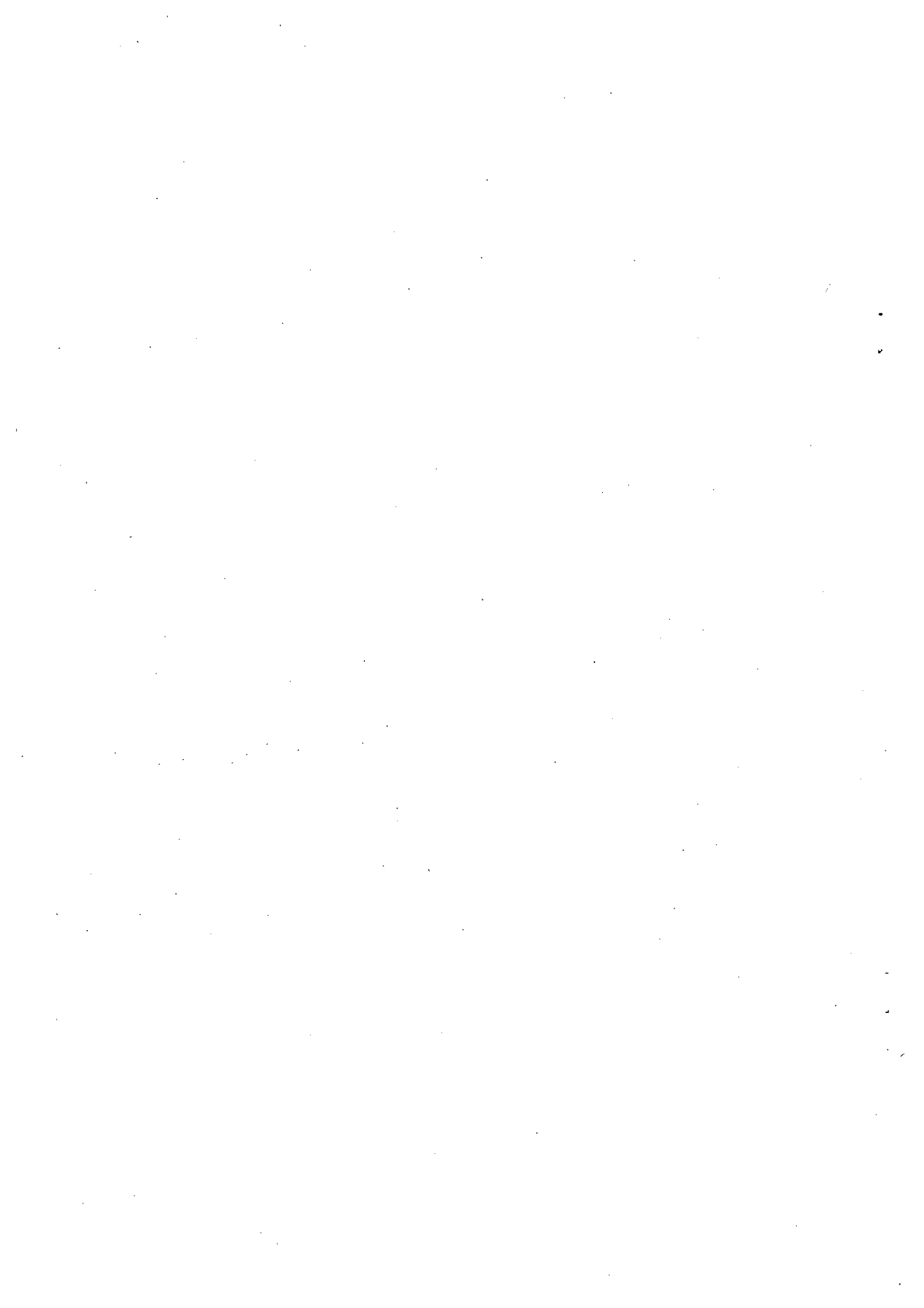


# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年11月28日)

- 1 鳥取市への保健所業務等の委託に係る東部4町住民説明会の開催について  
【地域振興課】・・・1ページ
- 2 航空自衛隊美保基地への空中給油・輸送機(KC-46A)の配備申入れに係る状況について  
【地域振興課】・・・2ページ
- 3 平成27年度決算(市町村分)に係る健全化判断比率・資金不足比率(確定値)について  
【地域振興課】・・・26ページ
- 4 倉吉未来中心の震災被害の対応状況について  
【文化政策課】・・・33ページ
- 5 第71回国民体育大会における鳥取県選手団の結果について  
【スポーツ課】・・・36ページ
- 6 第16回全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について  
【スポーツ課】・・・40ページ
- 7 関西ワールドマスタースゲームズ2021開催競技決定について  
【スポーツ課】・・・41ページ
- 8 2019レーザー級世界選手権大会の開催決定について  
【スポーツ課】・・・42ページ
- 9 本県ゆかりのスポーツ選手による被災地応援メッセージの展示について  
【スポーツ課】・・・43ページ
- 10 リオパラリンピック競泳銀メダリストの木村敬一選手の講演会等の開催について  
【スポーツ課】・・・44ページ

地 域 振 興 部



# 鳥取市への保健所業務等の委託に係る東部4町住民説明会の開催について

平成28年11月28日  
地域振興課

平成30年4月に鳥取市が中核市に移行し保健所を設置することに伴い、県は東部地区4町（岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）に係る保健所業務を市へ委託することについて、市及び各町と連携し、住民説明会を開催しましたので、概要を報告します。

## 1 周知・開催案内及び開催日時等

4町の協力のもと、各町の町報（折込チラシ）、ホームページ、CATV等により住民に周知するとともに、町内の関係団体の会合等で開催案内を行った。また、県から福祉・生活衛生関係団体に4町の開催日程を案内し、参加の呼びかけを行った。

地域	日時	会場	参加者数
岩美町	10月24日（月） 午後7時から午後8時	岩美町役場 大会議室	48名
若桜町	10月29日（土） 午後1時30分から2時30分	若桜町公民館 集会室	22名
智頭町	10月25日（火） 午後7時から午後8時	智頭町保健医療福祉総合センター 一ほのぼの ひだまりホール	20名
八頭町	10月15日（土） 午後1時30分から2時30分	郡家保健センター 研修室	19名

※参加者には、住民、町議会議員、関係者を含む。

## 2 主な説明内容

県から、東部圏域の保健所のあり方の検討を踏まえた4町の保健所業務の市への委託と主な保健所業務について、市から保健所設置に向けた準備状況について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。

〔説明内容〕

- (1) 県から市への保健所業務の委託と県の支援について
- (2) 保健所（東部福祉保健事務所及び東部生活環境事務所）の主な業務について
- (3) 鳥取市における保健所設置の準備状況について

## 3 質疑応答、主な意見

- (1) 東部4町住民に対する保健所業務に係る県の責任について  
⇒東部4町住民に対する保健所サービスの提供は、法令により県に義務づけられるものであり、県が責任を持って業務委託を行うとともに、必要なバックアップを行う。また、職員研修や情報、ノウハウの共有、人事交流を通じて、中部、西部との対応レベルに差が生じないように取り組む。
- (2) 移管後の市の保健所等の体制、専門職員の人員はどうなるのか。  
⇒鳥取市が設置する保健所において、現在、県が行っている相談対応や各種許認可に係る諸手続きを行う。また、鳥取市において、専門職員を確保・育成できるまでの間は、県から職員派遣を行い、必要な職員体制を確保することとしている。
- (3) 鳥取市で、平成30年4月には保健所業務に対応できるのか。  
⇒上記(2)のとおり県からの派遣で専門職を確保するとともに、現在、市職員を県へ派遣、県等が行う研修、訓練への参加及び職員に同行しての業務対応を行うこと等により業務引継の準備を行っている。
- (4) 市保健所の施設の障がい者等の対応や駐車場の確保など保健所業務の準備状況は。  
⇒平成30年4月から保健所業務を行う施設（さざんか会館）は、改修を予定、駐車場も必要台数の確保等に向けて調整中である。（鳥取市より回答）
- (5) 住民、団体、関係事業者に対する周知について  
⇒引き続き町の広報等を活用する。各団体の会合などいろいろな場面での説明会、個別の団体への説明、住民の方への説明会についても対応するので、お声かけいただきたい。

## 4 今後の予定

住民説明会等において、要請のあった関係団体等に対して、随時、説明の場を持つとともに、引き続き、各町の広報紙等を活用して準備状況や業務の内容等について周知していくこととしており、11月8日には、東部医師会理事会において説明を行った。

# 航空自衛隊美保基地への空中給油・輸送機（KC-46A）の 配備申入れに係る状況について

平成28年11月28日  
地域振興課

航空自衛隊美保基地における機種変更等に係る事前協議について、平成28年9月8日に中国四国防衛局から文書申入れがあり、それを受け、県として国（中国四国防衛局）に対して確認が必要な事項（35項目）及び追加照会事項（4項目）を照会していたところですが、次のとおり国からその回答がありましたので、その概要を報告します。

併せて、去る10月22日に美保基地において、中国四国防衛局による空中給油・輸送機（KC-767：美保基地配備予定のKC-46Aと改修母機を同一とする機種）のデモフライトが行われましたので、概要を報告します。

## I 県確認事項に対する国の回答

### 1 確認事項概要（詳細は別紙1のとおり。）

#### ① 配備に関すること

##### ・空中給油・輸送機配備の目的・必要性

→ 目標発見後、より遠方で直ちにこれに対処し得るよう、空中警戒待機の態勢を整えることが、我が国の防空を全うする上で不可欠。

##### ・空中給油・輸送機配備が美保基地に決定した理由

→ 航空自衛隊のすべての飛行場を対象として、総合的に検討・評価を実施した。

結果、必要な空域全般への進出に極めて有利で、南西地域への迅速な進出を可能とする位置にあり、配備基地として最適。

##### ・空中給油・輸送機の配備により、美保基地の位置づけ、性格の変化。

→ 空中給油・輸送機には、空中給油機能及び輸送機能の2つの機能があり、いずれも作戦支援機能であり、既に、C-1輸送機が配備されていることで美保基地が持っている機能。

#### ② 安全・安心に関すること

##### ・安全性

→ KC-46Aは、米連邦航空局の基準に基づき製造され、一般の民間大型航空機と同等の安全性を有する予定で、納入後も日本の基準で検討。

##### ・騒音

→ 騒音については、同型エンジンを搭載しているボーイング767と同程度であり、美保基地に配備されているC-1より小さく、C-2と同程度と推測。

##### ・配備後の騒音測定等の調査と騒音が大きい等の結果が出た場合の対策

→ 美保基地周辺においては、自動騒音測定装置を2か所設置し、常時騒音状況を把握。配備後においても継続して騒音測定を実施。

また、住宅防音工事に係る第一種区域の見直しについては、配備後における同基地周辺の運用状況及び騒音状況の変化を踏まえつつ、適切に対応。

#### ③ 訓練と民間機運用に関すること

##### ・空中給油・輸送機の離着陸の訓練回数及び空中給油の訓練の頻度

→ 具体的な訓練回数等は、運用試験の結果により決まるものであり、現段階で明確なことは申し上げられない。

なお、小牧基地の4機のKC-767の離着陸回数は、1か月あたり概ね100回程度。

##### ・民航機運航への影響

→ 民航や海保の運用に与える影響について、現時点で確たることをお答えすることは困難だが、配備にあたっては、民間空港としての発展・機能を損なわないことを前提に、引き続き関係機関等との綿密な調整を行う所存。

## 2 追加確認事項（詳細は別紙2のとおり。）

- ・振動被害（ソニックブーム、離着陸時の風圧）
  - ソニックブーム、基地周辺への着陸時の風圧による振動の影響はないと認識。
- ・KC-46Aによる空中給油が可能な自衛隊機及び米軍機の具体的機種。
  - 自衛隊機については、F-15、F-2及びKC-130H。今後導入されるC-2、F-35A及びKC-46A及びMV-22に給油可能予定。
  - 米軍機については、性能上は、F-35A、F-15、C-17、C-130、CV-22、F/A-18、F-35C、P-8、F-35B、MV-22等に給油可能予定。

## 3 今後の対応

国からの回答が示されたことを踏まえ、県としては地元の意見を伺う必要があると考えるので、意見照会を行うこととしたい。

## II 中国四国防衛局による空中給油・輸送機（KC-767：美保基地配備予定のKC-46Aと改修母機を同一とする機種）のデモフライトと騒音測定結果

1 実施日等 平成28年10月22日（土）9：30～15：30

2 場 所 航空自衛隊美保基地（境港市）及び基地周辺上空

3 視 察 者 境港市及び米子市の地元関係者、市議会議員、行政関係者  
鳥取県議会議員、鳥取県行政関係者  
島根県議会議員、島根県行政関係者、安来市議会議員、安来市行政関係者  
計 約120名

## 4 騒音測定結果（詳細は別紙3のとおり。）

○C-1とKC-767の騒音を比較した結果、差異にばらつきはあるものの全てKC-767の騒音の方が低い結果。

○平成23年9月測定のXC-2と比較しても、KC-767がやや低いか同等の騒音という結果。

○KC-46Aは開発中のため国の資料による推算値しか示されていないが、それによるとC-2より若干騒音が高いか同等（離陸経路直下で+3dB、離陸経路側方で+4dB、着陸経路直下で同数値）の騒音の見込み。

上空通過の騒音値

（単位：dB）

区 分	崎津公民館 （米子市）	三軒屋館 （境港市）	美保基地内 （境港市）
C-1	76.0	72.0	76.8
KC-767	60.5	65.9	72.4
XC-2 （参考：H23.9.25測定）	77.2	65.5	65.5

※騒音レベルとうるささについては、80dBを越えると極めてうるさいレベル

## 5 デモフライト参加の感想

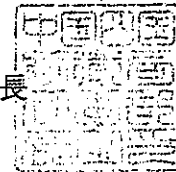
新規配備予定のKC-46Aに見立てた「KC-767」と「C-1」との比較では、離着陸時及び上空通過時とも「KC-767」の方の騒音がかなり低い印象を受けた。（合間に全日空のB737が飛んだが、それよりも低い騒音に感じた。）

・関係住民の方が参加者の中心であったが、概要説明、機内見学、展示飛行など冷静に聞かれていた。騒音については、「低い」との反応がみられた。

中防企地第6393号  
平成28年10月6日

鳥取県地域振興部長 殿

中国四国防衛局企画部長



航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機（KC-46A）の  
配備について（回答）

航空自衛隊美保基地（以下「美保基地」という。）の運用につきましては、平素より多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、関連文書により貴県から照会がありました本件について、別紙のとおり回答します。

美保基地における配備等が円滑に実施できますよう、貴職の御理解と御協力を賜るようお願い申し上げます。

関連文書：第201600095982号（平成28年9月16日）

添付書類：別紙

空中給油・輸送機配備に係る確認事項等(鳥取県)

確認項目	確認事項	回答
1	配備に関すること	
問1	空中給油・輸送機配備の目的・必要性はなにか。	我が国の防空態勢について、過去においては、我が国領空に接近するおそれのある航空機を発見した後、戦闘機を地上から発進させることで、これに対処することが基本的な可能であった。しかしながら、レーダーによる探知が困難な航空機のステルス化や、搭載ミサイルの射程程化が進んだ現在においては、戦闘機をあらかじめ空中で警戒するために継続的に待機させ、目標発見後、より遠方で直ちにこれに対処し得るよう、空中警戒待機の態勢を整えることが、我が国の防空を全うする上で不可欠となっています。こうした状況を踏まえ、空中給油機により戦闘機の滞空時間を延ばし、空中警戒待機の態勢を整えるため、これまでに空中給油・輸送機(4機)を導入してきたところです。その上で、平成25年末に策定された防衛大綱及び中期防衛力整備計画(以下「中期防」という。)(平成26年度～30年度)において、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、我が国の防空を全うするためには、空中給油・輸送部隊を増強するとともに、中期防期間中に3機を整備していくこととされたものです。
問2	空中給油・輸送機配備が美保基地に決定した理由はなにか。	配備基地については、航空自衛隊のすべての飛行場を対象とし、KC-46Aの運用に必要な施設整備の地積が確保できること、南西地域を重視しつつ、必要な空域全般へ進出し、所要の給油能力を発揮できること等の観点から総合的に検討・評価を行いました。その結果、美保基地は必要な空域全般への進出に極めて有利であることに加え、南西地域への迅速な進出を可能とする位置にあることから、KC-46Aの配備基地として最適であるとの結論を得たことより決定したものです。
問3	空中給油・輸送機の配備により、美保基地の位置づけ、性格はどうか。	空中給油・輸送機には、空中給油機能及び輸送機能の2つの機能があり、いずれも作戦を支援するための機能です。既に、C-1輸送機が配備されている美保基地に、新たに空中給油・輸送機を配備しても、美保基地の位置づけを变化させるものではないと認識しています。
問4	県を含めた地元自治体からの同意がない中、平成29年度国概算案に、空中給油・輸送機の美保基地配備が盛り込まれた場合、地元自治体からのかなりの反響が予想され、最悪の場合住民の意見を受け県を含めた地元自治体が同意できないことも想定される。そのようなことについて、どう考え、どう対応するのか。	我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増している中、我が国の領土・領海・領空を断固として守り抜く態勢を早急に構築していくことが不可欠となっています。このため、防衛大綱においては、戦闘機部隊、警戒航空部隊等が我が国周辺空域等で各種作戦を積極的に遂行し得るよう、増強された空中給油・輸送部隊を保持することとされています。その上で、美保基地は必要な空域全般への進出に有利であることに加え、南西地域への迅速な進出を可能とする位置にあることから、KC-46Aの配備基地として最適であると考えています。KC-46Aを美保基地に配備することは、我が国の領土・領海・領空を断固として守り抜く態勢強化のために不可欠であると考えているところ、是非とも御理解御協力を賜りたく、鳥取県知事から同意いただけたら幸いです。
問4	最終的に、美保基地には空中給油・輸送機は何機配備されるのか。数機になる場合を含めた具体的な配備スケジュールはどのようなものか。	中期防(平成26年度～平成30年度)において、KC-46Aの整備規模は3機とされていますが、美保基地における最終的な配備機数は決定していません。今後の空中給油・輸送機の取得機数については、防衛上の所要と厳しい財政状況を踏まえ、次期中期防に関する検討や各年度の予算編成のプロセスで検討することとなります。(参考) 現有のKC-767は小牧基地(愛知県)に4機配備。
問5	美保基地に配備される空中給油・輸送機はアメリカにおいて閉業中の機種を導入を予定されているが、アメリカにおいても引渡時期が予定時期より遅れる可能性が高いという情報もある。日本への引き渡しの予定はいつ頃になるのか。	KC-46Aの開業に遅延が生じているとの報道については承知しています。これについては、給油チームに関する不具合が発生しているものの、ソフトウエア及びハードウエアを改修することにより、不具合は解消される旨、米国防府から説明を受けています。

空中給油・輸送機配備に係る確認事項等（鳥取県）

確認項目	確認事項	回答
問6	<p>移転する第41教育飛行隊の人数は何人で、今度新たに配備される空中給油・輸送機の部隊の人数は何人になるのか。</p>	<p>第41教育飛行隊の移動に伴い、移動する隊員の人数については現時点で約百名から数百名を予定していますが、詳細な人数は現在検討中です。 また、KC-46A配備に伴う隊員の人数に係る細部の計画については、現時点では確定していません。 なお、小牧基地においては、KC-767を4機配備した時点で約150名程度の隊員を配置しました。</p>
問7	<p>県への協議の回答はいつごろまでに得るようされているか、県の回答の状況によっては、美保基地の施設整備等のスケジュールは変更されるのか。</p>	<p>KC-46Aの美保基地配備に伴う関連施設として、平成30年度以降に格納庫及び駐機場等の整備を計画しており、そのための調査・設計費を平成28年度予算に計上しています。 そのため、平成28年度中に同意を頂けるよう努力して参りたいと考えています。</p>
問1	<p>美保基地に配備される空中給油・輸送機の安全性は担保されているか、その根拠はなにか。</p>	<p>KC-46Aは、米連邦航空局の基準に基づき製造され、一般の民間大型航空機と同等の安全性を有しているものと承知しています。 航空機納入後も、国土交通省が定めた安全性に関する基準と同等の防衛大臣が定める安全性に関する基準に基づき、飛行試験を段階的に実施し、安全性について十分に検討することとしています。</p>
問2	<p>美保基地に配備される空中給油・輸送機は、民間機ボーイング767を改修母機として開発されているが、現在小牧基地に配備されている空中給油・輸送機の機体との相違点等、安全性に係る詳しい諸元はどのようなものか。</p>	<p>KC-46AとKC-767は両機とも母機がボーイング767であり、基本的な構造はほぼ同じですが、KC-46Aの方が機能・性能面で向上している点があります。例えば、  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最大搭載燃料は、約1.4倍</li> <li>○ 航続性能は、約1.3倍</li> <li>○ 上部貨物室(メインデッキ)における人員と貨物の混載が可能(KC-767は不可)</li> <li>○ 給油方式が、フライング・ブーム方式のみならず、プロープ&amp;ドロウ方式に対応(KC-767は前者のみ)</li> <li>○ 自己防衛装置を標準装備(KC-767は選装なし)</li> </ul>                     といった点が挙げられます。 さらなる詳細については、事柄の性質上、お答えは差し控えて頂きます。</p>
問3	<p>美保基地に配備される空中給油・輸送機の基地周辺にもたらす騒音や振動被害はどうか。</p>	<p>KC-46Aの騒音については、同型エンジンを搭載しているボーイング767と同程度であり、美保基地に配備されているC-1より小さく、C-2と同程度と推測されます。 なお、KC-46Aの配備とT-400の移動を合わせた場合、国際民間航空機関(ICAO)の基準による騒音レベルはKC-46Aが若干大きいですが、小牧基地で運用している4機のKC-767の離着陸回数が、1か月あたり概ね100回であるのに対し、美保基地におけるT-400の離着陸回数が1か月あたり概ね650回程度であることから、美保基地周辺において航空機騒音が発生する頻度は相当少なくなると考えています。 (参考) 国際民間航空機関(ICAO)の基準による騒音レベル(EPNdB) ・KC-46A:離陸 約90、側方 約97、進入 約97(推算値) ・T-400:離陸 約89、側方 約94、進入 約92</p>



空中給油・輸送機配備に係る確認事項等(鳥取県)

確認項目	確認事項	回答
問4	美保基地への空中給油・輸送機配備後に騒音測定等の調査を行うのか。その結果、騒音が大きい等の結果が出た場合、防衛省としてどのような対策を行うのか。	美保基地周辺においては、自動騒音測定装置を2か所設置し、常時騒音状況を把握しているところであり、KC-46A配備後においても継続して騒音測定を行うこととしています。 また、住宅防音工事に係る第一種区域の見直しについては、配備後における同基地周辺の運用状況及び騒音状況の変化を踏まえつつ、適切に対応したいと考えています。
問5	美保基地に配備される空中給油・輸送機の空中給油・輸送機で空中給油が可能な相手方機種はどのような機種か。	KC-46Aは、フライングブーム方式とブロープ・アンド・ドローグ方式の2つの給油システムを有しています。 フライングブーム方式では、性能上は、航空自衛隊が現在保有するF-15、F-2及びKC-130Hと、今後導入されるC-2、F-35A及びKC-46Aに給油可能となる予定です。 また、ブロープ・アンド・ドローグ方式では、性能上は、陸上自衛隊に今後導入されるアイルト・ローター機(V-22)にも給油可能となる予定です。
3 訓練に関すること	問1 美保基地に配備される空中給油・輸送機の訓練区域はどこか。	運用試験等の結果で定められることとなりますが、通常の(空中給油)訓練は、本邦で設定されている訓練・試験空域等で行うこととなると思われます。 今現在の空中給油・輸送機が配備されている部隊での訓練で回答すると、日々の飛行訓練等は基地の隣接する訓練空域で行い、空中給油訓練は戦闘機部隊の配置された基地の近隣の訓練空域で行っています。 なお、美保基地上空や市街地上空で空中給油訓練を行うことは原則として想定していません。
問2	美保基地に配備される空中給油・輸送機の離着陸の訓練回数、どの程度の頻度になるのか。	パイロット等の乗組員の技量の維持・向上のため、飛行訓練を実施する必要があります。具体的な訓練回数等は、運用試験の結果により決まるものであり、現段階で明確なことは申し上げられません。 なお、小牧基地における4機のKC-767の離着陸回数は、1か月あたり概ね100回程度であること、及び移動するT-400の離着陸回数が1か月あたり概ね650回程度であることを踏まえれば、美保基地全体の離着陸回数は、現在よりも少なくなると考えています。
問3	美保基地に配備される空中給油・輸送機の空中給油の訓練は、どの程度の頻度で行うのか。	KC-46Aの運用要領については、現段階で明確なものは申し上げられません。しかしながら、飛行経路及び飛行高度等は、美保基地で運用しているC-1と大きく変わらなかと考えています。 なお、現在の訓練空域等への運出及び機投要領(基準)は別図のとおりです。
問4	美保基地に配備される空中給油・輸送機の飛行コースはどのルートになるか。(離着陸訓練の場合)	KC-46Aは、現在、小牧基地で運用しているKC-767の運用を踏まえつつ、新たに取得する航空機であることも考慮した使用頻度になると見込まれます。 なお、小牧基地で運用している4機のKC-767の離着陸回数は、1か月あたり概ね100回程度であること、及び移動するT-400の離着陸回数が1か月あたり概ね650回程度であることを踏まえれば、美保基地全体の離着陸回数は、現在よりも少なくなると考えています。
4 美保基地の機能に関すること	問1 空中給油・輸送機の配備により、輸送部隊の運航回数に大きな変化は生じないか。	飛行訓練については、現在、美保基地で運用しているC-1と同様となることを見込まれます。ただし、任務については、全国に配備されている戦闘機等に空中給油を行うため、KC-767を運用している小牧基地と同様に、最大で7時から22時までと見込まれます。 (参考) 美保基地における運用時間(自主規制)は、昼間は0700~1700、夜間は日没後から最大2時間半。
問2	空中給油・輸送機の離着陸時間の想定はどのようなものか。	美保基地に配備されるKC-46Aは、現在、小牧基地で運用しているKC-767の運用を踏まえつつ、新たに取得する航空機であることも考慮した使用頻度になると見込まれます。 なお、小牧基地で運用している4機のKC-767の離着陸回数は、1か月あたり概ね100回程度であること、及び移動するT-400の離着陸回数が1か月あたり概ね650回程度であることを踏まえれば、美保基地全体の離着陸回数は、現在よりも少なくなると考えています。

空中給油・輸送機配備に係る確認事項等（鳥取県）

確認項目	確認事項	回答
問3	空中給油・輸送機配備に伴い、美保基地での日米共同統合演習が増加したり、米軍の訓練移転の受け皿となるように繋がることはないか。	日米共同統合演習については、現在のところ増加するような計画はありません。米軍の訓練移転については、「再編実施のための日米ロードマップ（平成18年5月）」に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、 ○平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地へ航空機の訓練移転 ○平成23年10月からグアム等への航空機の訓練移転 について、順次、実施しているものであり、現段階において、ご指摘の米軍の訓練移転の受け皿になることは想定していません。
問4	空中給油・輸送機の実働での使用頻度はどの程度と想定しているか。	KC-46Aは、現在、小牧基地で運用しているKC-767の運用を踏まえつつ、新たに取得する航空機であることも考慮した使用頻度になると見込まれます。 なお、小牧基地で運用している4機のKC-767の離着陸回数は、1か月あたり概ね100回程度です。
問5	美保基地に配備される予定の空中給油・輸送機が、航空自衛隊の戦闘機にも給油を行うのであれば、戦闘行為と一体化することなどとなり美保基地の性格が単なる教育輸送基地という位置付けではなくなるという指摘や、攻撃対象になるのではないかと指摘を受けるのではないかと懸念についてどう考えているか。	空中給油・輸送機には、空中給油機能及び輸送機能の2つの機能があり、いずれも作戦を支援するための機能です。既に、C-1輸送機が配備されている美保基地に、新たに空中給油・輸送機を配備しても、美保基地の位置づけを変化させるものではないと認識しています。 また、攻撃対象になるのではないかとご指摘については、航空自衛隊の基地は、いずれも航空防衛力の発揮に不可欠な機能を有しており、国防上の位置付けにおいて異なることではないものと考えています。 よって、今後、空中給油・輸送機が配備されたとしても、それを理由としてその基地が他国から攻撃される可能性が高まることはないかと認識しています。
問1	空中給油・輸送機関連施設の整備はいつから始まるか。また、本県からの同意の回答前に着工されることはないかと認識しているか。	KC-46Aの美保基地配備に伴う関連施設として、平成30年度以降以降に格納庫及び駐機場等の整備を計画しており、そのための調査・設計費を平成28年度予算に計上しています。 そのため、平成28年度中に同意を頂けるよう努力して参りたいと考えています。
問2	空中給油・輸送機の格納庫や燃料タンクなど、どのような施設を、どのようなスケジュールで整備する予定か。	
問3	その関連施設整備に伴う民間航空への影響はないか。	関連施設整備に伴う民間航空への影響はありません。

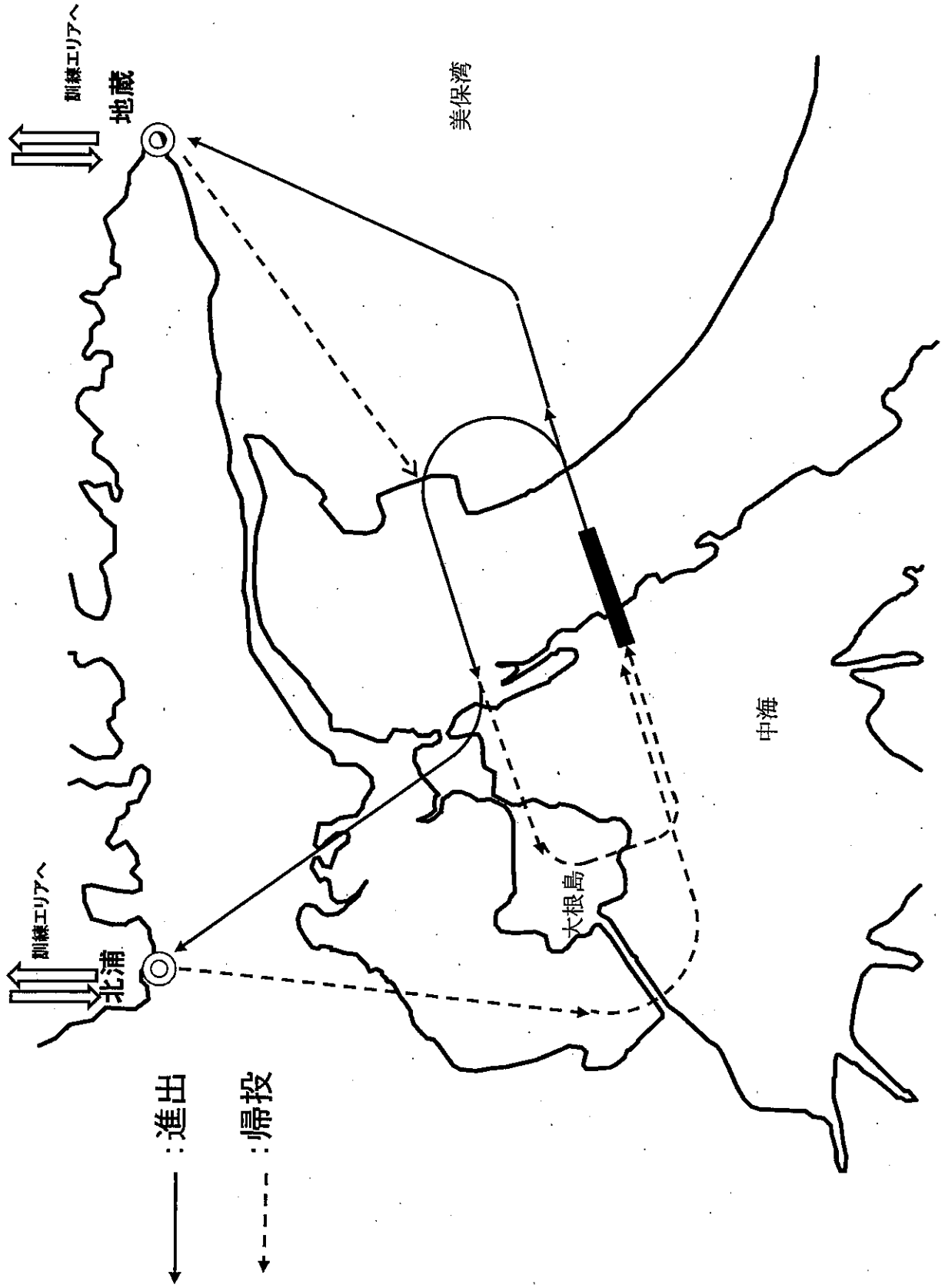
空中給油・輸送機配備に係る確認事項等（鳥取県）

確認項目	確認事項	回答
6 米子空港の運営に関すること	問1 空中給油・輸送機の配備は、民航機の運航に影響（滑走路、管制面での制限等）を及ぼすことはないか。	民航や海保の運用に与える影響について、現時点で確たることをお答えすることは困難ですが、KC-46Aの配備にあたっては、地元関係自治体を始め、周辺住民の皆様方の御意見を踏まえつつ、民間空港としての発展・機能を損なわないことを前提に、引き続き関係機関等との綿密な調整を行っている所存です。
7 その他	問1 現在、空中給油・輸送機が配備されている小牧基地はどのような基地か、美保基地と同様の機種の配備がされているとすれば、各種機種についてどのような運用がされているのか。	小牧基地は、濃尾平野の北東部、名古屋市の中心から北方約15Kmlに位置するとともに、小牧市、春日井市及び豊山町の2市1町にまたがり、総面積は約120万平方メートルとなっています。 また、小牧基地においては、第1輸送航空隊が編成され、C-130H輸送機のほか、空中給油・輸送機としてKC-767が配備されています。第1輸送航空隊は、これらの航空機により、輸送任務を行っています。
問2	小牧基地配備の空中給油・輸送機と今回美保基地に配備される空中給油・輸送機の役割分担はどのようなものか。	小牧基地に配備されているKC-767と美保基地に配備を予定しているKC-46Aは、同様の任務を行います。各種の訓練または任務運航等における個別具体的な役割分担については、それぞれの状況によるため、現段階では確定的なことは申し上げられません。
問3	美保基地に配備される空中給油・輸送機から米軍機への給油はあるか。また、オスプレイへの給油はあり得るのか。	新たな空中給油・輸送機KC-46Aは、我が国を取り巻く安全保障環境が一段厳しさを増す中、防衛大綱及び中期防を踏まえ、あくまでも、我が国の防衛を全うするため必要不可欠な装備品として整備を進めるものです。 したがって、米軍機への空中給油を具体的に念頭に置いて導入するものではありません。 その上で一般論として申し上げます。我が国防衛にあたっては日米共同対処も想定されており、航空自衛隊による空中給油活動は、米軍の任務遂行にも資するものと考えています。したがって、米軍機への空中給油を実施することが全く排除されるものではありません。 また、性能上は、陸上自衛隊に今後導入されるティルト・ローター機（V-22）にも給油可能となる予定です。
問4	給油する油は地元で調達するのか。	一般給油を申し上げますと、給油する油は一般競争入札にて調達先を決定するものです。 参考までに申し上げますと、現在、美保基地にて使用している燃料については一般競争にて中央で一括調達しています。

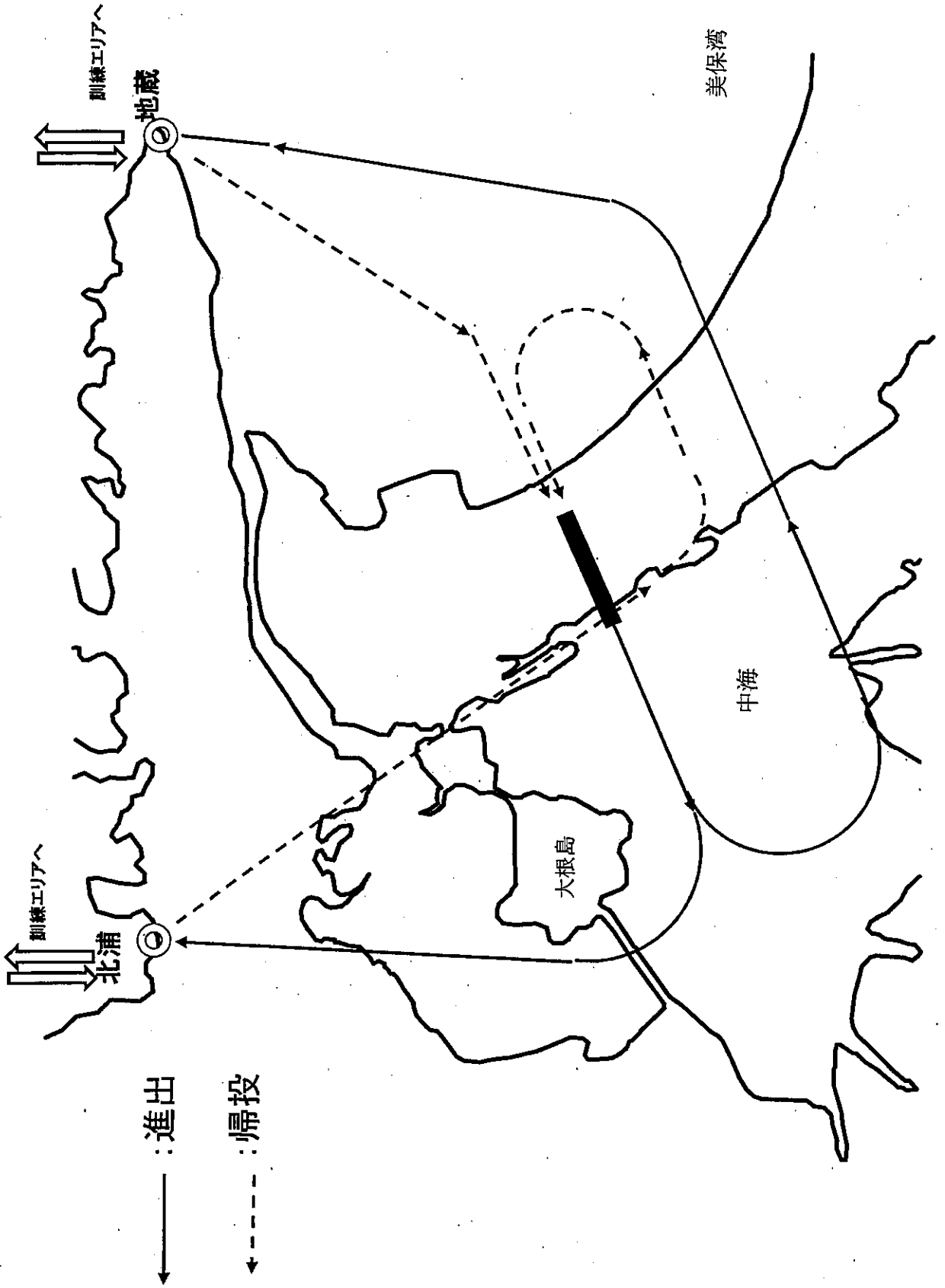
空中給油・輸送機配備に係る確認事項等(鳥取県)

確認項目	確認事項	回答
問5	美保基地に配備される空中給油・輸送機の空中給油はどの基地所属の戦闘機に行い、その戦闘機はどのような活動を行うのか。	KC-46Aは航空自衛隊の保有する戦闘機のうち、F-4戦闘機を除くF-15及びF-2戦闘機に対して空中給油を行う予定となっております。これらの戦闘機を保有する戦闘機部隊の一部は、平成28年度中に配備基地を移転する予定となっておりますが、28年度末において、これら戦闘機の配備先は、千歳、三沢、小松、岐阜、築城、新田原及び那覇基地となる予定です。 また、戦闘機部隊等は我が国周辺空域等で各種作戦を行っています。具体的な活動内容については、事柄の性質上、お答えを差し控えます。
問6	美保基地に配備される空中給油・輸送機から空中給油された戦闘機は、どれ位の時間飛ぶことができ、その飛行範囲はどのようになるのか。	具体的な飛行時間や飛行範囲については、部隊運用上の能力を明らかにするおそれがあることから、お答えを差し控させていただきます。
問7	美保基地に配備される空中給油・輸送機から空中給油された戦闘機は、国外で戦闘行為をすることはあるか。	従来からの「海外派兵は一般に許されない」という原則は全く変わりません。国の存立を全うし、国民を守るための自衛の措置としての武力の行使の「新三要件」により、日本がとり得る措置には自衛のための必要最小限という截止めがかけられています。 ※「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」の一問一答 内閣官房HP参照 これは、世界的にも例を見ない非常に厳しい要件であり、憲法上の明確な截止めとなっております。 いずれにせよ、我が国の平和国家としての歩みはこれからも決して変わることはありません。 (参考) 自衛の措置としての武力の行使の新三要件 ○ 我が国に対する武力攻撃が発生したこと、又は我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険があること。 ○ これを排除し、我が国の存立を全うし、国民を守るために他に適当な手段がないこと。 ○ 必要最小限度の実力行使にとどまらなければならないこと。
問8	美保基地に配備される空中給油・輸送機が国外での空中給油を行うことはあるのか。	KC-46Aの運用要領については、現段階で明確なものは申し上げられません。 なお、小牧基地で運用しているKC-767については、日本の領海外で実施された日米共同訓練に参加し、空中給油を行っています。
問9	中国四国防衛局等で予定されている住民説明会開催の回数、時期はどのようなものか。	住民説明会等での説明については、境港市・米子市の要望を踏まえ平成28年9月末時点で以下のとおり実施しました。今後、両市の要望を踏まえ適切に対応してまいります。 (実績) 平成28年9月21日 境港市議会(全員協議会) 9月21日 境港市住民説明会(中浜地区) 9月23日 境港市住民説明会(薄、余子、誠道地区) 9月28日 米子市米子飛行場周辺地域振興協議会総会 9月29日 米子市議会(全員協議会)

訓練空域等への進出及び帰投要領 (基準) (RWY07)



訓練空域等への進出及び帰投要領 (基準) (RWY 25)



## 国への追加照会事項に対する国回答

28. 11. 16

更問 美保基地に配備される空中給油・輸送機の基地周辺にもたらす振動被害（ソニックブーム、離着陸時の風圧）はどうか。

（回答）

ソニックブームによる振動について、ソニックブームは航空機が音速（1 M a c h）を超える時に発生する現象ですが、KC-46Aの速度性能は音速を超えない（0.86 M a c h）ため、ソニックブームは発生せず、基地周辺への振動の影響はないものと考えている。

また、離着陸時の風圧による振動について、美保基地では自衛隊機、民間機等、様々な航空機が離発着を行っていますが、これまで離着陸時の風圧によって振動が発生したということは承知しておらず、KC-46A配備後においても、基地周辺への着陸時の風圧による振動の影響はないものと考えている。

問 KC-46Aの訓練や運用要領は定まっていないということだが、空中給油・輸送機の訓練空域について、現在KC-46Aと同型機を母機とする空中給油・輸送機（KC-767）が配備されている部隊では、日々の飛行訓練等は基地の隣接する訓練空域で行い、空中給油訓練は戦闘機部隊の配置された基地の近隣の訓練空域で行っているということだが、訓練空域を図で示して頂きたい。また、空中給油を行う戦闘機部隊の配置されている基地はどこか。（前回回答3-問1に追加して）

（回答）

KC-767による空中給油実施空域は別冊（KC-767展示飛行時の概要説明資料10頁）のとおり。

また、空中給油を行う戦闘機を保有する戦闘機部隊の一部は、平成28年度中に配備基地を移転する予定となっているが、28年度末において、これら戦闘機の配備先は、千歳、三沢、小松、岐阜、築城、新田原及び那覇基地となる予定である。

問 KC-46Aの訓練や運用要領は定まっていないということだが、KC-46Aと同型機を母機とするKC-767の航続距離並びに輸送を行っている範囲はどこまでか。

（回答）

KC-767の航続距離は約7,200kmであり、輸送を行っている範囲は、

国内の外、国際緊急援助等の任務でパキスタン、フィリピン、西アフリカ等への輸送実績がある。

参考：別冊「KC-767展示飛行時の概要説明資料14、15頁」

問 小牧基地配備のKC-767と美保基地配備予定のKC-46Aによる空中給油が可能な自衛隊機の機種及び米軍機の機種を具体的にお示しいただきたい。(前回回答2-問5に追加して)

(回答)

【KC-46A】

KC-46Aは、自衛隊機については、F-15、F-2及びKC-130Hと、今後導入されるC-2、F-35A及びKC-46A及びMV-22に給油可能となる予定である。

また、米軍機については、また米軍機については、性能上は、主要な、

○ 米空軍機 (例：F-35A、F-15、C-17、C-130、CV-22等)

○ 米海軍機 (例：F/A-18、F-35C、P-8等)

○ 米海兵隊機 (例：F/A-18、F-35B、MV-22等)

に給油可能となる予定である。

【KC-767】

KC-767は、自衛隊機については、F-15、F-2及びKC-130Hに給油可能であり、今後導入されるC-2、F-35A及びKC-46Aに給油可能となる予定である。

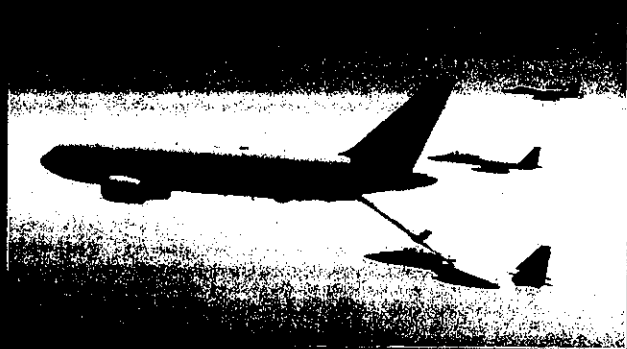
また、米軍機については、米国による技術的な適合性が確認されていないため、現段階では、米軍機に対して空中給油を行うことはない。





1st Tactical Air Lift Wing

404SQ



KC-767



- 機体概要
- 性能・諸元
- 空中給油機能
- 輸送機能
- 空輸実績等



## 機体概要



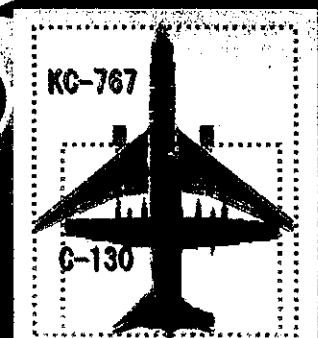
- 日本初の空中給油・輸送機
- ボーイング社製B767-200が開発母機
  - 空中給油装置を付加(カメラシステム、コンピュータ制御化)
  - 無線機能及び航法機能を強化
- 平成22年4月から運用開始
- 現在、日本とイタリアのみ保有
- 乗員4名



## 性能・緒元

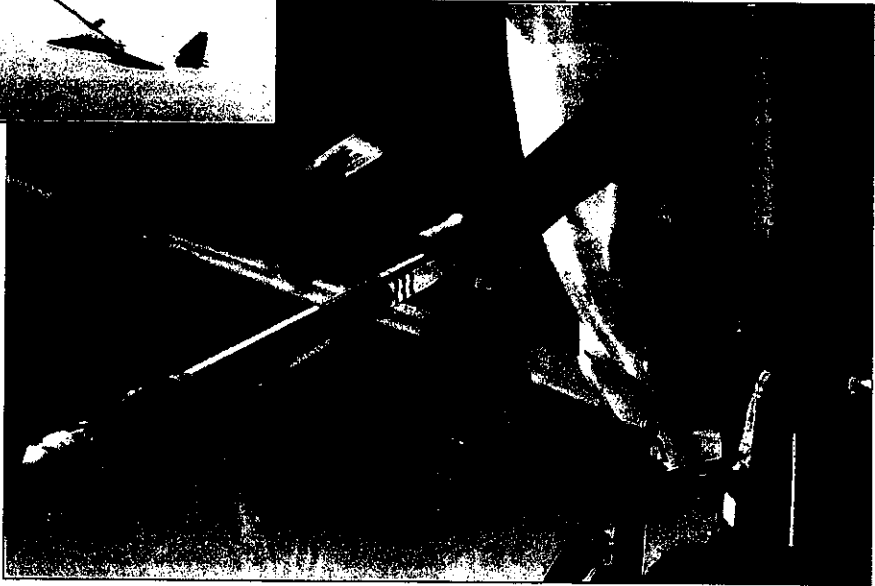
最大速度	360 kt // 0.84M 約960km/h	
巡航速度	300 kt / 0.8M 約890km/h	
上昇限度	43,100ft : 約13,000m	
航続距離	4,000nm(30t 搭載時) : 約7,200km	

全長	159ft 2in	48.5m
全幅	156ft 1in	47.7m
全高	52ft	15.8m
最大離陸重量	388,000 lbs	176.0t
最大着陸重量	300,000 lbs	136.1t
最大搭載燃料	約160,000LBS	

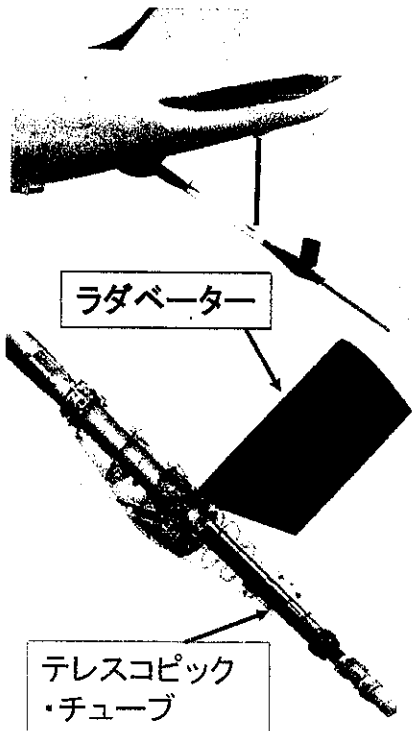
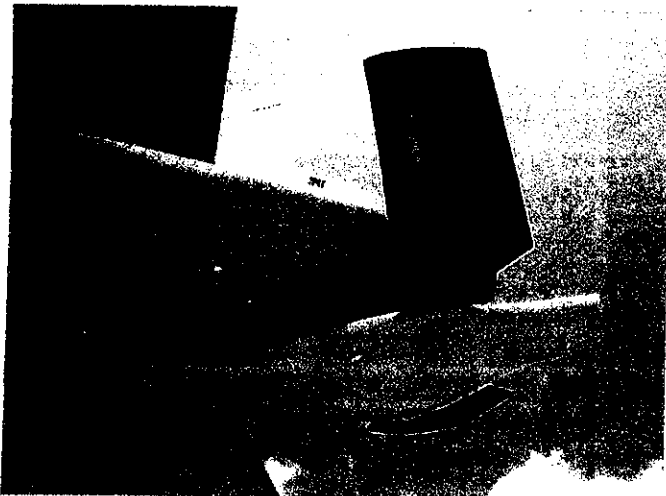




# 空中給油機能



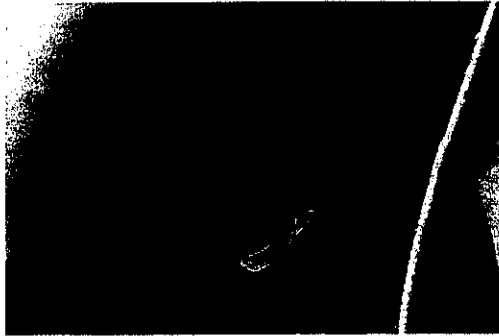
## ● フライング・ブーム



## ● カメラシステム

### BARCS

Boom Air Refueling Camera System  
3次元立体視覚IRカメラ



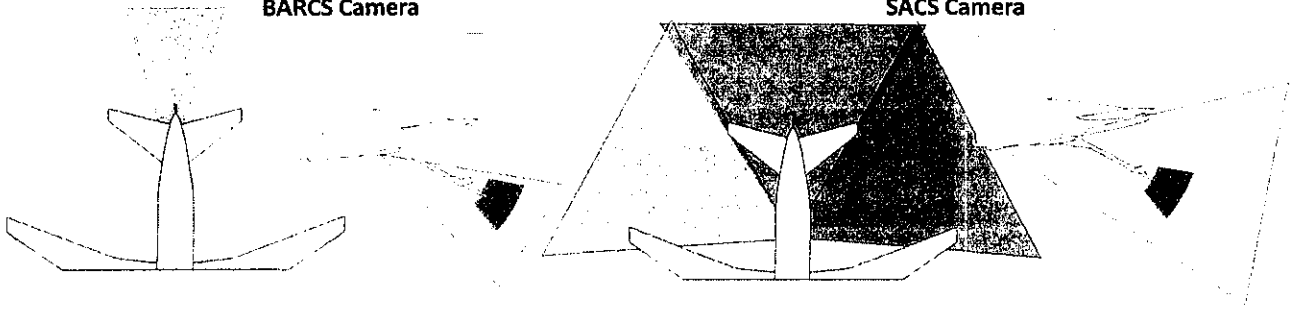
BARCS Camera

### SACS

Situational Awareness Camera System  
2次元3方向IRカメラ(翼端から翼端まで)

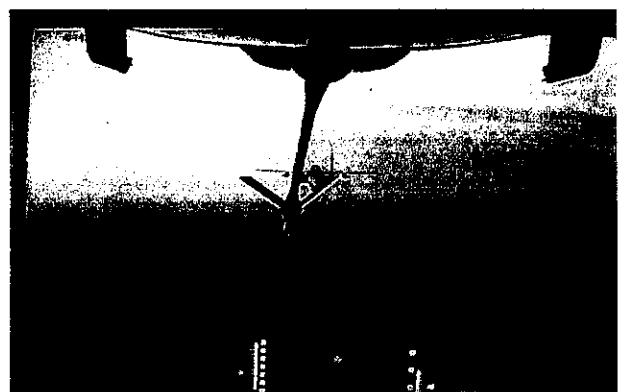
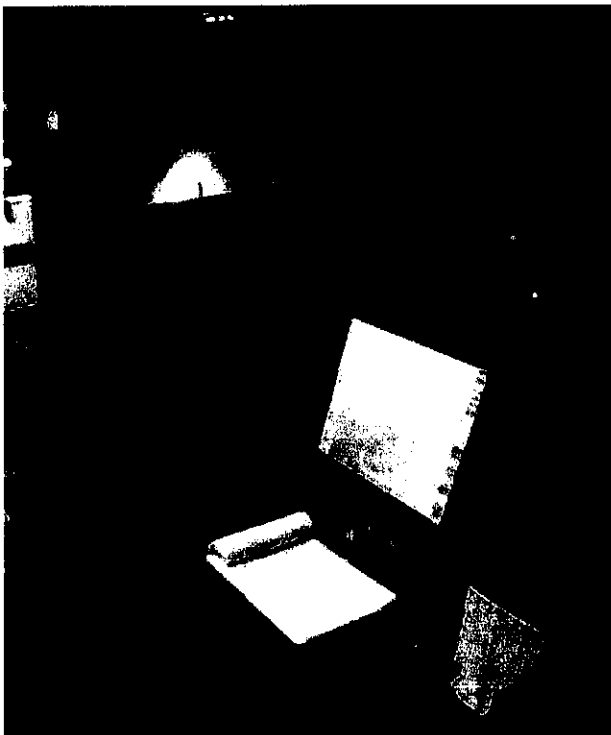


SACS Camera

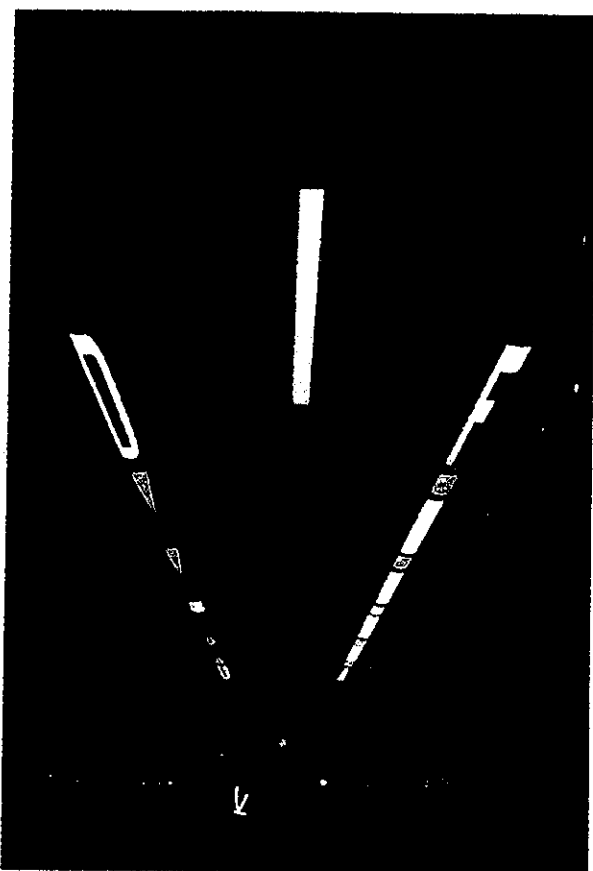


## ● ブームオペレーター席

- RARO II (Remote Air Refuel Operator station) -



HMD (Head mounted Display)

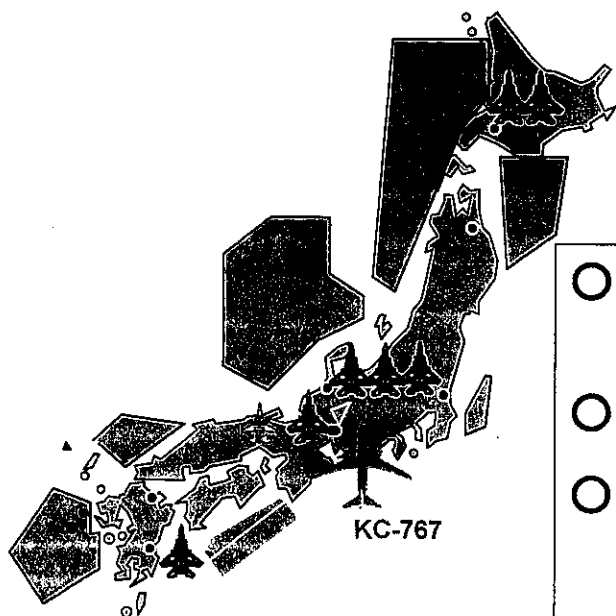


## PDL (Pilot Director Light)

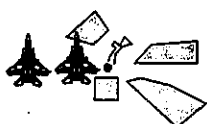
空中給油中の受油機が正確な位置を保持するために使用



### ● 空中給油実施状況



- 受油機パイロットの養成及び技量維持
- 演習等における空中給油
- レッドフラックアラスカ及びコープノースグアムにおける空中給油(戦闘機の展開支援)

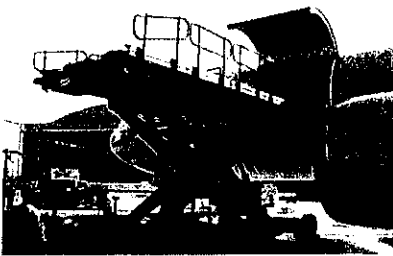




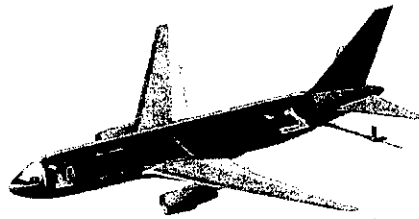
# 輸送機能



## ● 貨物輸送形態



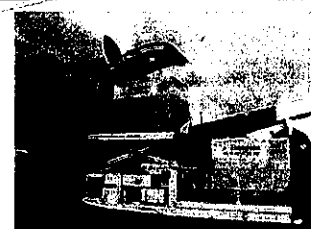
〈上部貨物室〉  
パレット最大19枚



車両搭載状況  
(パジェロ)

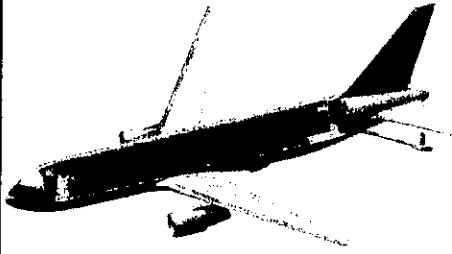


〈下部前方貨物室〉  
パレット3枚  
(又は、コンテナ6個)



〈下部後方貨物室〉  
コンテナ4個  
(パレットは不可)

## ● 人員輸送形態



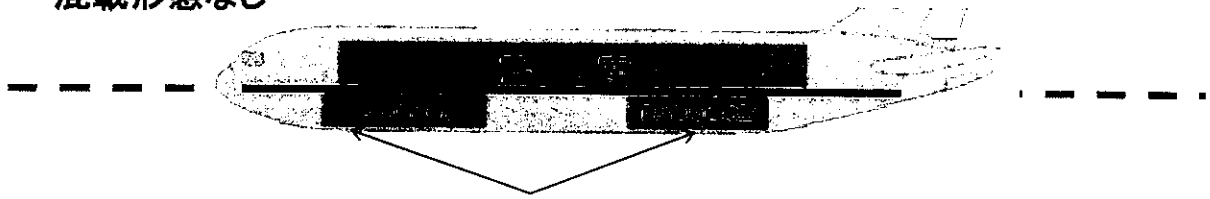
### <客室>

- ・窓なし
- ・貨物と人員の混載形態なし

### 上部貨物室

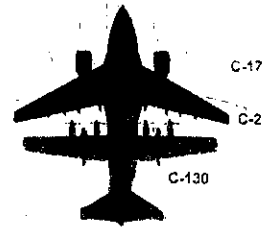
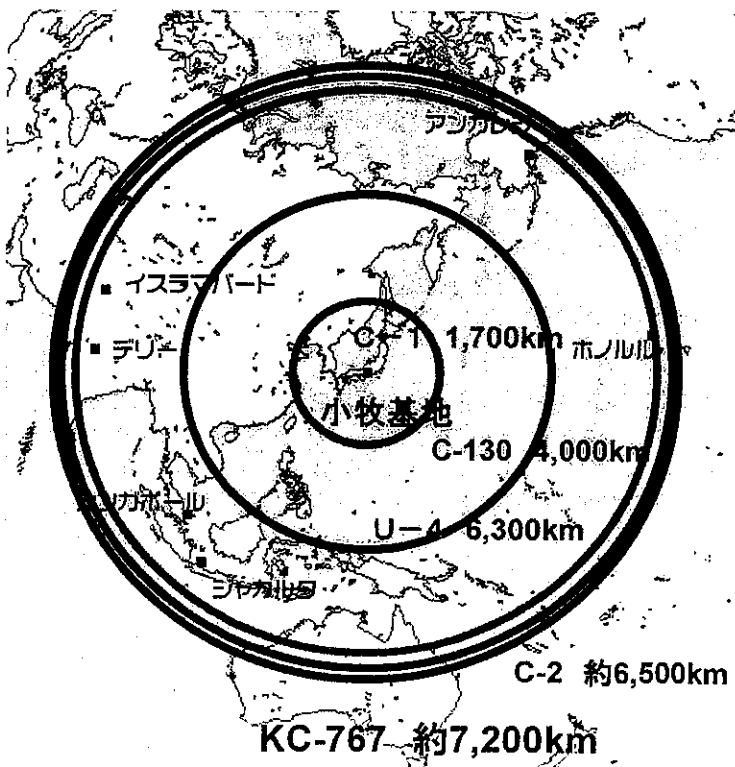
人員 最大200名

### <座席>



機体下部は、貨物輸送形態と同じ

## ● 輸送能力比較



機種	搭載量 (t)	パレット (枚)	人員 (名)
KC-767	30.0	22	200
C-2	12.0	8	110
U-4	1.2	0	14
C-130	5.0	6	92
C-1	2.6	3	60

# ● 空輸実績等

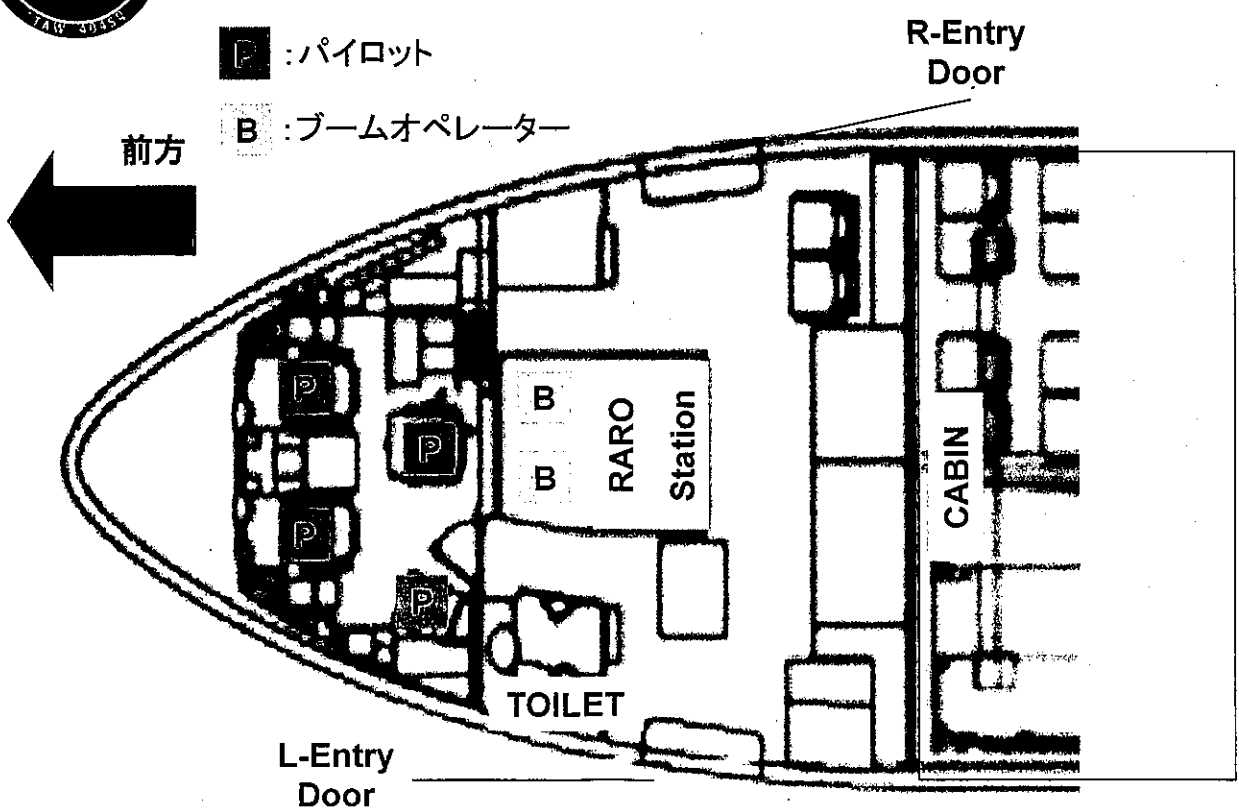
国緊：国際緊急援助

任務名等	派遣国(空港)
パキスタン国緊	パキスタン(カラチ)、マレーシア(クアラルンプール) 経由
ハイチPKO	ハイチ(ポルトープランス)、アメリカ(トラビス) 経由
海賊対処	ジブチ、モルディブ(マレ) 経由、デリー(インド) 経由
フィリピン国緊	フィリピン(マニラ、セブ)
西アフリカ国緊	ガーナ、モルディブ(マレ) 及びジブチ 経由
RFA	アメリカ(アイルソン、エレメンドルフ)
CNG	アメリカ(アンダーセン)
国外運航訓練	インドネシア(ハリム)、タイ(ドンムアン、プーケット) パプアニューギニア(ポートモレスビー)、ブルネイ インド(ムンバイ、バンガロール) オーストラリア(アヴァロン) バングラディッシュ

- ・東日本大震災派遣要員及び  
支援物資輸送
- ・熊本地震支援物資輸送



## 機内







**END**



10月22日実施のKC-767展示飛行に係る美保基地周辺における騒音測定結果一覧表

○C-1とKC-767の騒音を比較した結果、差異にばらつきはあるものの全てKC-767の騒音の方が低い結果。

○平成23年9月測定 of XC-2と比較しても、KC-767がやや低いか同等の騒音という結果。

○KC-46Aは開発中のため国の資料による推算値しか示されていないが、それによるとC-2より若干騒音が高いか同等（離陸経路直下で+3dB、離陸経路側方で+4dB、着陸経路直下で同数値）の騒音の見込み。

平成28年11月2日  
地域振興課  
単位: dB

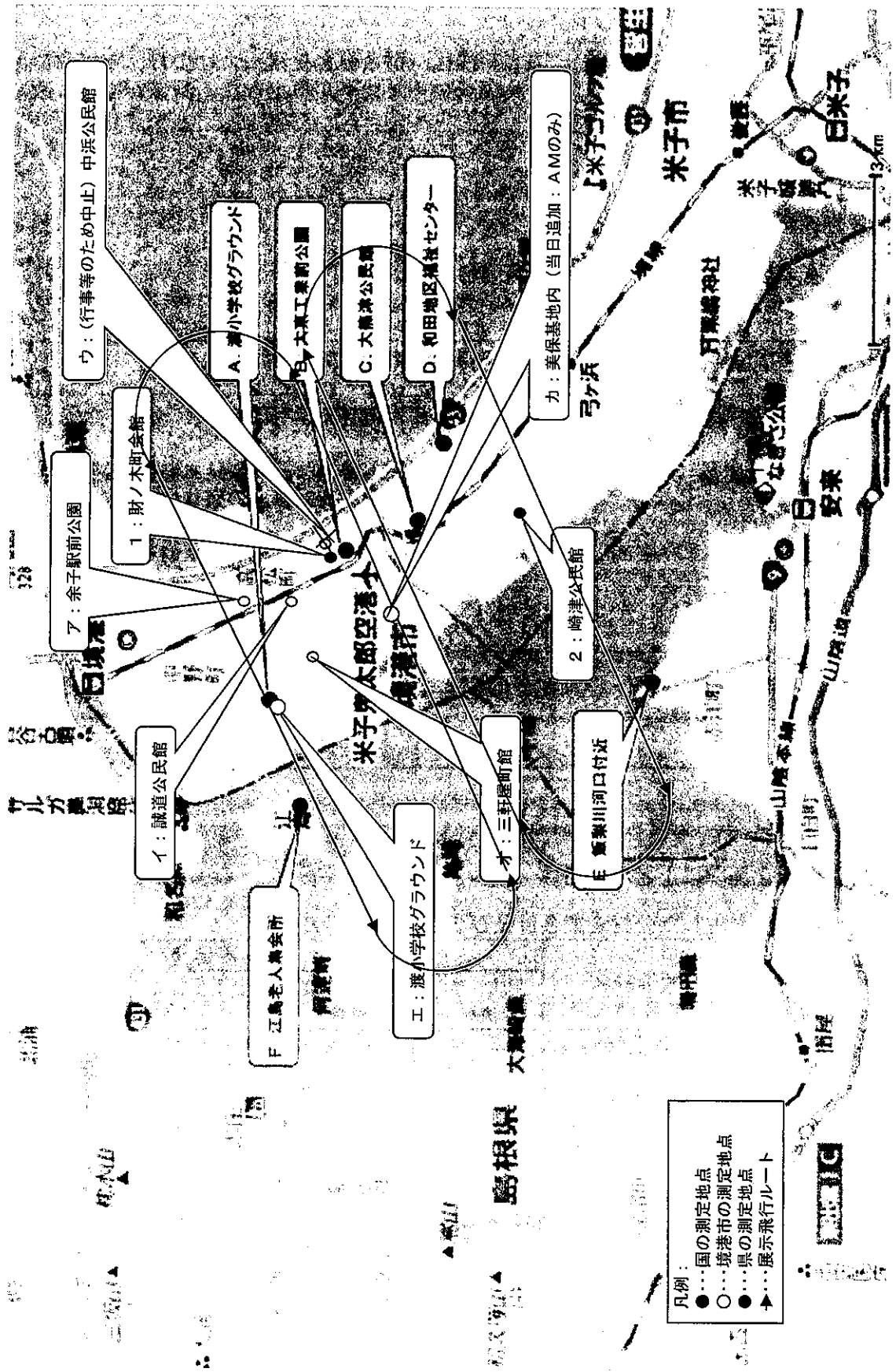
午前・午後の複数回飛行のうち、上空通過の騒音値の最も大きい値で記載  
国(防衛局)測定地点

機種	境港市測定地点										原測定地点	
	A 渡小グラウンド (境港市)	B 大東工業前公園 (境港市)	C 大森津公民館 (米子市)	D 地区福祉センター (米子市)	ア 余子駅前公園 (境港市)	イ 延津公民館 (境港市)	ウ 中兵公民館 (境港市)	エ 渡小グラウンド (境港市)	オ 三軒屋町館 (境港市)	カ 美保基地内 (境港市)※1	1 財ノ木町会館 (境港市)	2 崎津公民館 (米子市)※2
C-1 (a)	79.9	75.3	70.7	80.1	83.8	計測不具合のため、 当日測定できなかった	行先等の 当日の 測定 を行わなかった	80.8	72.0	76.8	72.8	76.0
KC-767 (b)	72.3	68.6	70.1	63.4	74.4		71.2	65.9	72.4	68.7	60.5	
差異 (b-a)	▲ 7.6	▲ 6.7	▲ 0.6	▲ 16.7	▲ 9.4	0.0	▲ 9.6	▲ 6.1	▲ 4.4	▲ 4.1	▲ 15.5	
XC-2 参 考 測 定 値 (最大騒音) H23. 9. 25			78.1			65.8	70.0	65.5	84.9	77.2		

※1 ... 午前1回のみ測定  
※2 ... 午後1回のみ測定

参考:騒音レベルとうるささ  
60デシベル:普通の会話、チャイム、時速40kmでは知る自動車の内部  
70デシベル:掃除機、騒々しい街頭、キーボードの音  
80デシベル:地下鉄の車内(窓を開けたとき)、ピアノの音 聴力障害の限界  
90デシベル:大声、犬の鳴き声、大声による独唱、騒々しい工場内  
80デシベルを越えると、極めてうるさいレベル

# 騒音測定について(位置図)



平成27年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率(確定値)について

平成28年11月28日  
地域振興課

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、市町村において平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が算定され、数値が確定しましたので報告します。

(1) 健全化判断比率

○ 早期健全化基準以上となる団体・・・なし

○ 健全化判断比率の状況（対前年度比較）

早期健全化等の判断の目安となる健全化判断比率に係る県内市町村の状況は次のとおり。

- |           |  |
|-----------|--|
| ①実質赤字比率   | ・・・前年度と同様、全市町村で赤字なし  |
| ②連結実質赤字比率 | ・・・前年度と同様、全市町村で赤字なし  |
| ③実質公債費比率  | ・・・起債発行の抑制や繰上償還などによりおおむね減少傾向にあり、地方債発行に許可が必要な18%以上の団体は1団体減で0となった。                           |
| ④将来負担比率   | ・・・増加した団体は無く、各団体とも健全な財政運営に努めている。<br>* 将来負担比率なし（＝資金不足が生じていない）の団体<br>若桜町、三朝町、大山町、伯耆町、日南町、日野町 |

※健全化判断比率の内容、早期健全化基準・財政再生基準、市町村ごとの比率については、  
〈参考〉を参照のこと。

(2) 資金不足比率（公営企業に係る指標）

○ 経営健全化基準以上となる団体・・・なし

○ 資金不足が発生した公営企業会計及び資金不足比率の状況

市町村名	公営企業会計名	資金不足比率		
		平成27年度 決算	平成26年度 決算	資金不足比率が増加（悪化）した要因
境港市	土地区画整理費特別会計	5.2%	4.2%	地価の低迷により、用地の分譲価格が簿価に達していないため
若桜町	索道事業特別会計	17.8%	—	スキー場の料金収入（営業日数、利用客）の減による収支悪化による。
湯梨浜町	国民宿舎事業特別会計	0.7%	—	料金収入（利用客）の減による収支悪化による。
北栄町	下水道事業特別会計	2.8%	3.0%	—

※「資金不足比率」：公営企業ごとの資金不足の比率（対事業の規模（営業収益））。  
資金不足比率の経営健全化基準＝20%

<参 考>各市町村の健全化判断比率一覧

各市町村のいずれの指標も早期健全化基準及び財政再生基準を下回っている。

(単位：%)

指標 市町村名	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
鳥取市	赤字なし	赤字なし	12.1	78.4
米子市	赤字なし	赤字なし	15.2	134.1
倉吉市	赤字なし	赤字なし	13.0	117.8
境港市	赤字なし	赤字なし	13.8	96.4
岩美町	赤字なし	赤字なし	13.4	52.6
若桜町	赤字なし	赤字なし	6.4	- (*1)
智頭町	赤字なし	赤字なし	11.4	88.7
八頭町	赤字なし	赤字なし	8.2	24.9
三朝町	赤字なし	赤字なし	10.1	- (*1)
湯梨浜町	赤字なし	赤字なし	14.8	6.3
琴浦町	赤字なし	赤字なし	12.0	122.3
北栄町	赤字なし	赤字なし	13.0	87.9
日吉津村	赤字なし	赤字なし	7.0	19.9
大山町	赤字なし	赤字なし	9.0	- (*1)
南部町	赤字なし	赤字なし	10.1	24.7
伯耆町	赤字なし	赤字なし	9.8	- (*1)
日南町	赤字なし	赤字なし	9.8	- (*1)
日野町	赤字なし	赤字なし	17.7	- (*1)
江府町	赤字なし	赤字なし	10.7	63.2
早期健全化 基準(*3)	11.25~15 (*2)	16.25 ~20 (*2)	25	350
財政再生 基準(*3)	20	30	35	
(参考)県分	赤字なし	赤字なし	12.4	105.6
早期健全化 基準	3.75	8.75	25	400
財政再生 基準	5	15	35	

\* 1. 「-」は、当該比率が生じていない(資金不足が生じていない)ことを表している。

\* 2. 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の早期健全化基準は市町村の財政規模に応じて設定される。

\* 3. 健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)のいずれかが早期健全化基準以上である場合には、当該健全化判断比率を公表した年度の末日までに、「財政健全化計画」を定める必要があります。

再生判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率)のいずれかが財政再生基準以上である場合には、当該再生判断比率を公表した年度の末日までに、「財政再生計画」を定める必要があります。

## 健全化判断比率及び資金不足比率の説明

### ○実質赤字比率

福祉、教育、まちづくり等を行う地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

### ○連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

### ○実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$$

（3か年平均）

### ○将来負担比率

地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$$

### ○資金不足比率

公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} \times 100$$

### ※資金の不足額

資金の不足額（法適用企業）＝（流動負債＋建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高－流動資産）－解消可能資金不足額

資金の不足額（法非適用企業）＝（繰上充用額＋支払繰延額・事業繰越額＋建設改良費以外の経費の財源に充てるために起こした地方債現在高）－解消可能資金不足額

### ※事業の規模

事業の規模（法適用企業）＝営業収益の額－受託工事収益の額

事業の規模（法非適用企業）＝営業収益に相当する収入の額－受託工事収益に相当する収入の額

事業の規模（宅地造成事業のみ行う企業）＝資本の額＋負債の額

<参考>

## 平成27年度市町村普通会計の決算の概要

<概要>

- 歳入総額は、地方消費税率引上げに伴う地方消費税交付金の増、地域への好循環拡大に向けた緊急経済対策による地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の増等により、3年連続で増加。
- 歳出総額は、普通建設事業費の減等があったものの、緊急経済対策によるプレミアム付き商品券の発行事業に伴う補助費等の増、財政調整基金等の各種基金への積立金の増等により、4年連続で増加。

<歳入>

(単位：百万円、%)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
一般財源 計 A+B+C+D+E	174,255	55.2	171,287	55.0	2,967	1.7
地方税 A	65,221	20.7	66,411	21.3	▲ 1,190	▲ 1.8
地方譲与税 B	2,176	0.7	2,074	0.7	101	4.9
地方特例交付金 C	211	0.1	209	0.1	2	0.9
地方交付税 D	94,148	29.8	94,589	30.4	▲ 442	▲ 0.5
地方消費税交付金等各種交付金 E	12,500	4.0	8,004	2.6	4,496	56.2
国庫支出金	38,526	12.2	35,823	11.5	2,703	7.5
県支出金	23,919	7.6	24,110	7.7	▲ 191	▲ 0.8
地方債	29,435	9.3	30,121	9.7	▲ 687	▲ 2.3
繰入金	5,603	1.8	6,580	2.1	▲ 976	▲ 14.8
その他	43,665	13.8	43,387	13.9	279	0.6
歳入合計	315,403	100.0	311,308	100.0	4,095	1.3

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【地方税】 税制改正に伴う税率引下げによる法人住民税の減、評価替えに伴う課税額の減による固定資産税の減等
- 【地方交付税】 過去の減税補てん債の算入終了に伴う需要額の減、地方消費税率引上げに伴う地方消費税交付金の収入額の増等による普通交付税の減
- 【各種交付金】 地方消費税率引上げに伴う地方消費税交付金の増等
- 【国庫支出金】 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の増等

<歳出>

(単位：百万円、%)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	129,163	42.1	130,015	42.9	▲ 852	▲ 0.7
うち人件費	40,846	13.3	40,428	13.4	418	1.0
うち扶助費	53,804	17.5	52,613	17.4	1,192	2.3
うち公債費	34,513	11.2	36,975	12.2	▲ 2,462	▲ 6.7
投資的経費	34,818	11.3	39,689	13.1	▲ 4,871	▲ 12.3
うち普通建設事業費	34,574	11.3	38,671	12.8	▲ 4,097	▲ 10.6
うち補助事業費	14,556	4.7	16,533	5.5	▲ 1,977	▲ 12.0
うち単独事業費	19,487	6.3	21,382	7.1	▲ 1,895	▲ 8.9
うち災害復旧事業費	244	0.1	1,018	0.3	▲ 774	▲ 76.0
その他の経費	142,985	46.6	133,113	44.0	9,871	7.4
うち物件費	37,445	12.2	35,790	11.8	1,656	4.6
うち補助費等	37,888	12.3	34,960	11.5	2,928	8.4
うち積立金	9,405	3.1	6,859	2.3	2,546	37.1
うち貸付金	19,058	6.2	18,424	6.1	634	3.4
うち繰出金	35,330	11.5	33,316	11.0	2,014	6.0
歳出合計	306,966	100.0	302,818	100.0	4,148	1.4

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【公債費】 減税補てん債等の元利償還額の減、繰上償還を行わなかったことによる減等
- 【普通建設事業費】 米子市の共同調理場整備事業、境港市の給食センター整備事業等の減
- 【補助費等】 緊急経済対策によるプレミアム付き商品券の発行事業の増等
- 【積立金】 財政調整基金、ふるさと納税に係る基金等の各種基金への積立金の増
- 【繰出金】 米子市の土地開発基金への繰出の増（繰出をした上で同基金を廃止し、残額を一般会計へ繰入）等

平成27年度 市町村別普通会計決算の状況

(単位：百万円、%)

市町村名	歳入総額				歳出総額				実収収支				経常収支比率				地方債現在高				積立金現在高	
	増減額		一般財源		増減額		義務的経費		増減額		普通建設事業費		増減額		増減値		増減額		増減額		増減額	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
鳥取市	95,800	2,478	52,528	619	93,872	2,540	41,041	7,907	744	1,723	177	85.0	△ 1.0	96,377	△ 1,032	15,700	1,882					
米子市	65,349	2,762	31,532	414	64,517	2,920	28,752	5,836	△ 422	763	△ 48	91.3	△ 0.6	66,289	△ 751	6,299	1,004					
倉吉市	30,716	1,285	14,767	424	29,872	1,418	11,834	5,799	△ 388	744	423	90.9	△ 2.8	31,616	1,970	5,482	472					
境港市	16,765	△ 1,238	8,250	52	16,395	△ 1,089	6,992	1,615	△ 2,246	175	△ 51	92.2	0.0	12,784	△ 103	4,035	△ 253					
岩美町	6,927	90	4,276	168	6,828	147	2,661	864	△ 32	67	△ 22	87.4	△ 1.5	6,843	△ 167	2,950	△ 99					
岩手町	3,692	246	2,306	110	3,405	199	1,136	585	67	179	△ 14	81.3	△ 1.9	3,169	△ 1	1,961	84					
智頭町	6,350	△ 2,050	3,937	14	6,091	△ 1,959	2,065	△ 100	835	241	△ 88	88.3	3.4	6,663	293	2,630	234					
八頭町	11,043	△ 1,328	7,319	120	10,458	△ 1,419	4,442	962	△ 1,403	539	97	82.5	△ 0.4	12,057	△ 458	5,763	650					
三朝町	5,843	1,255	3,070	83	5,752	1,225	1,789	△ 85	1,578	81	43	85.5	△ 0.3	5,210	1,105	2,423	385					
湯梨浜町	9,689	△ 472	6,479	79	9,344	△ 569	4,832	229	816	300	109	84.7	△ 1.0	12,049	△ 1,031	6,512	219					
琴浦町	11,086	364	6,590	133	10,842	362	4,470	△ 32	1,340	210	193	88.4	0.4	15,271	△ 328	4,280	129					
北栄町	8,626	529	5,535	159	8,284	410	3,637	49	767	257	61	86.3	△ 1.8	8,140	△ 307	3,274	284					
日吉津村	2,294	△ 694	1,461	69	2,207	△ 687	979	62	217	71	22	86.6	△ 2.5	2,053	26	849	80					
大山町	11,433	566	7,436	149	10,676	283	4,049	52	1,116	608	190	85.5	△ 1.7	10,879	△ 396	5,446	265					
南部町	7,212	△ 342	4,808	76	6,991	△ 315	2,904	63	817	187	19	86.6	1.1	7,070	△ 301	3,927	206					
伯耆町	7,447	△ 284	5,189	78	7,196	△ 354	3,169	△ 213	638	186	9	88.2	△ 1.7	6,272	△ 585	3,862	177					
日南町	7,992	1,231	4,006	85	7,488	1,310	1,802	△ 35	2,387	247	70	89.0	△ 1.2	6,032	776	4,053	△ 2					
日野町	3,523	322	2,460	70	3,362	376	1,377	△ 1	189	150	△ 56	91.0	2.3	1,982	△ 258	1,756	140					
江府町	3,615	△ 625	2,308	65	3,388	△ 651	1,233	△ 78	304	220	44	81.7	△ 6.0	3,862	1	1,210	121					
倉井(平助)	315,403	4,095	174,255	2,967	306,966	4,148	129,163	△ 852	34,574	6,948	1,180	87.0	△ 0.9	314,607	△ 1,546	82,411	5,958					

※端数処理により、計と内訳が一致しない場合がある。  
 ※一般財源とは、地方税、地方譲与税、地方交付金、地方交付税等をいう。



平成 27 年度市町村地方公営企業の決算の概要

- 平成 27 年度市町村地方公営企業の決算について、収益的収支における総収益は、概ね前年度並みの、524 億 85 百万円（対前年度△2 億 72 百万円）となった。総費用は、平成 26 年度に実施した会計基準の見直し等の影響が解消された結果、退職給付引当金の一括計上により一時的に増加していた費用（特別損失、+44 億円）等が大きく減少し、449 億 61 百万円（対前年度△48 億 72 百万円）となった。
- 資本的収支における資本的収入は、市場事業等における建設改良費の減に伴う企業債発行額の減により、201 億 87 百万円（対前年度△17 億 10 百万円）となった。資本的支出は、市場事業等における建設改良費の減により、338 億 94 百万円（対前年度△12 億 55 百万円）となった。
- 総収支は、平成 26 年度に実施した会計基準の見直し等の影響が解消され、総費用が大きく減少した結果、収支が大幅に改善して黒字に転化し、9 億 24 百万円（対前年度+47 億 7 百万円）となった。
- 企業債の新規発行額は 96 億 15 百万円（対前年度△11 億 24 百万円）、企業債残高は 2,872 億 26 百万円（対前年度△106 億 5 百万円）であり、公営企業全体で見ると新規ハード事業は抑制傾向にある。

（単位：百万円）

区分	収益的収支								
	総収益			総費用			収支差引		
	27 年度	26 年度	増減	27 年度	26 年度	増減	27 年度	26 年度	増減
水道	10,675	10,812	△137	9,519	11,618	△2,099	1,156	△806	1,962
工業用水道	23	23	0	24	28	△4	△1	△5	4
病院	16,947	17,618	△671	17,168	19,606	△2,438	△221	△1,988	1,767
電気	592	640	△48	294	247	47	298	393	△95
下水道	22,791	22,154	637	17,008	17,216	△208	5,783	4,938	845
市場	124	80	44	37	48	△11	87	32	55
観光施設	815	883	△68	792	903	△111	23	△20	43
宅地造成	209	266	△57	6	9	△3	203	257	△54
駐車場整備	118	126	△8	65	66	△1	53	60	△7
介護サービス	191	155	36	48	92	△44	143	63	80
合計	52,485	52,757	△272	44,961	49,833	△4,872	7,524	2,924	4,600

(単位：百万円)

区分	資本的収支								
	資本的収入			資本的支出			収支差引		
	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減	27年度	26年度	増減
水道	4,657	4,544	113	8,363	8,528	△165	△3,706	△3,984	278
工業用水道	0	2	△2	5	9	△4	△5	△7	2
病院	1,485	1,514	△29	2,635	2,550	85	△1,150	△1,036	△114
電気	0	82	△82	171	359	△188	△171	△277	106
下水道	13,486	14,474	△988	21,609	21,838	△229	△8,123	△7,364	△759
市場	225	932	△707	265	971	△706	△40	△39	△1
観光施設	205	192	13	319	349	△30	△114	△157	43
宅地造成	20	27	△7	249	224	25	△229	△197	△32
駐車場整備	51	63	△12	132	156	△24	△81	△93	12
介護サービス	58	67	△9	146	165	△19	△88	△98	10
合計	20,187	21,897	△1,710	33,894	35,149	△1,255	△13,707	△13,252	△455

(単位：百万円)

区分	総収支 (純損益(法適)+実質収支(非適))		
	27年度	26年度	増減
水道	837	△1,217	2,054
工業用水道	△1	△5	4
病院	△221	△1,989	1,768
電気	100	103	△3
下水道	1,290	505	785
市場	52	3	49
観光施設	△35	△104	69
宅地造成	△392	△365	△27
駐車場整備	△706	△669	△37
介護サービス	0	△45	45
合計	924	△3,783	4,707

## 倉吉未来中心の震災被害の対応状況について

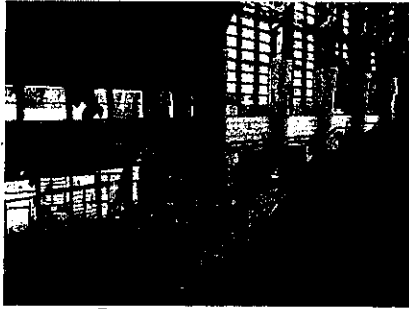
平成28年11月28日  
文化政策課・女性活躍推進課

10月21日（金）に発生した鳥取県中部を震源とする地震により被害を受けた倉吉未来中心の対応状況について報告します。

### 1 施設の被害状況等

#### (1) 被災状況

- ・アトリウムの吊り天井の一部（約140㎡）が落下、内側仕上げ材落下（複数箇所）
- ・アトリウムのトラス基礎部分に著しい損傷（事務所側のトラス基礎）
- ・大ホール天井の一部や舞台機構の損傷等



①入口の吊り天井



②内側仕上げ材



③トラス基礎（柱脚）



④大ホール舞台機構

#### (2) 被災箇所の復旧について

入口や大ホールの吊り天井、アトリウムのトラス基礎（柱脚）の一部等の損傷については、現在、損傷に至った原因と対策について詳細分析中。

#### 2 催事の対応状況

- ・12月末までの催事の全て、大ホール、アトリウムは、平成29年2月までの催事について、お断りの連絡を行った。→主催者へ中部地域内で利用可能なホール等を紹介

#### 3 倉吉未来中心運営事務局

- ・大ホールスタッフルーム、楽屋事務室、楽屋4,6に仮設事務所を設置（10/24）
- ・12月15日（木）までの事務室復帰に向け準備中。

#### 4 テナント入居者（土産物店など3店舗）

- ・本店等での営業（2店舗）、休業（1店舗、他所での営業予定なし）で対応中

#### 5 団体事務局サロン利用者（4団体）

- ・代表者自宅、仮事務所の設置等で対応中

#### 6 復旧工事

11月16日（水）より仮設間仕切り設置工事に着手〔11/24（木）完了〕

#### 7 再開見込み

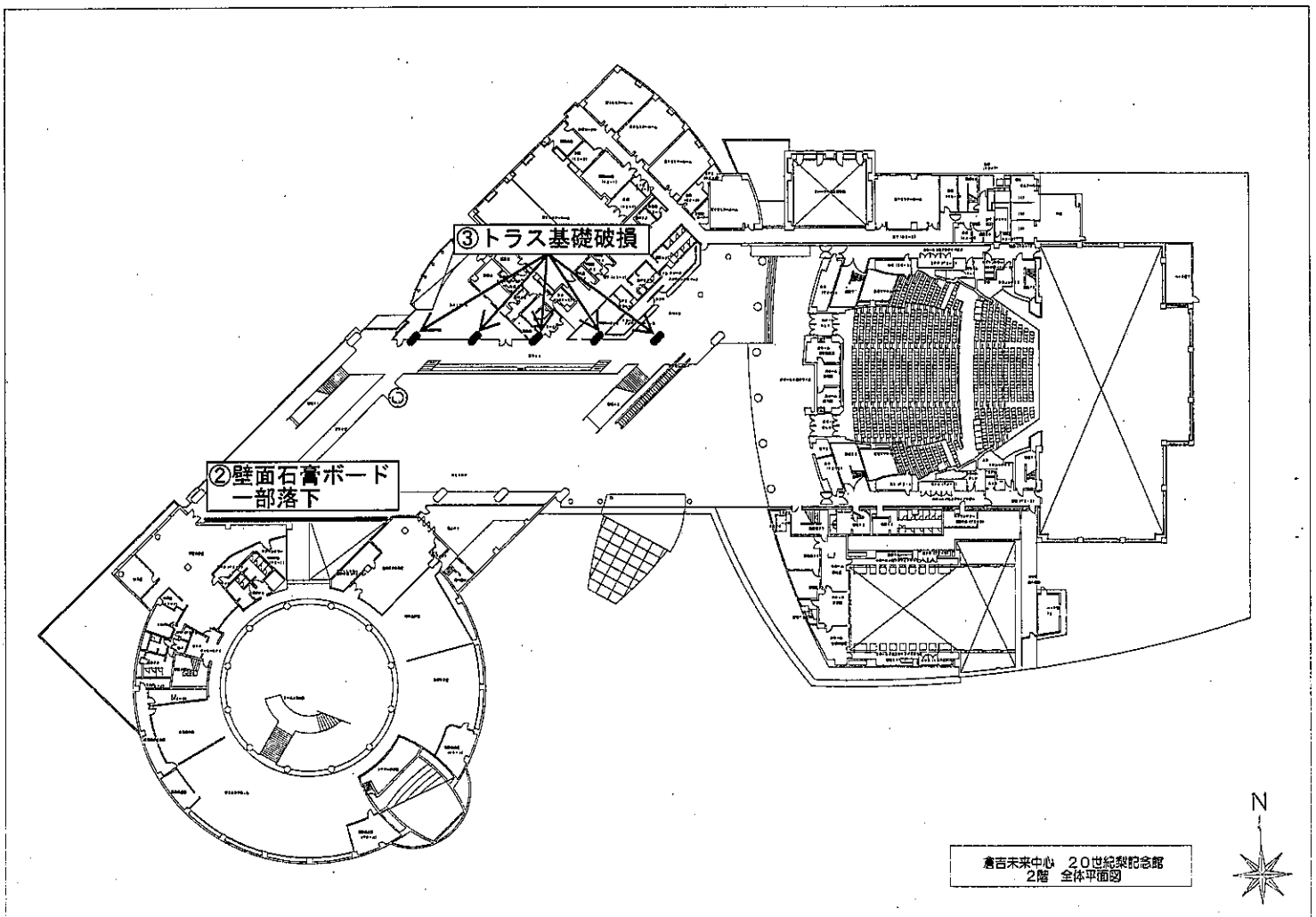
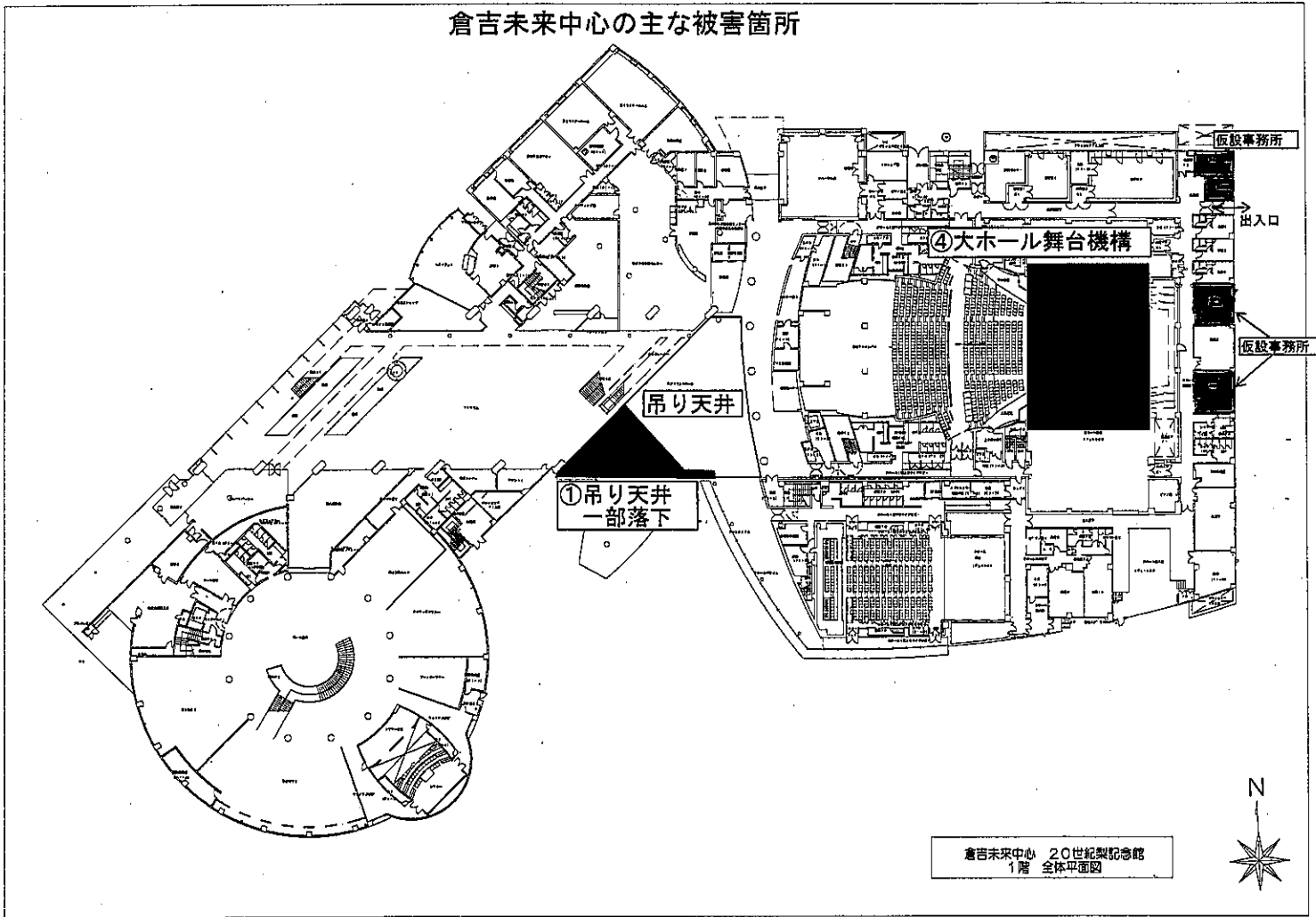
##### (1) 一部再開について

- 男女共同参画センター「よりん彩」は、11月29日（火）より倉吉未来中心にて業務再開予定。〔10/25（火）より中部総合事務所へ一時移転中〕
- 鳥取二十世紀梨記念館、リハーサル室、練習室は12月15日（木）までの再開を目指す。
- 小ホールは平成29年1月末、セミナールーム1～9（3を除く）は、それ以前の再開を目指す。

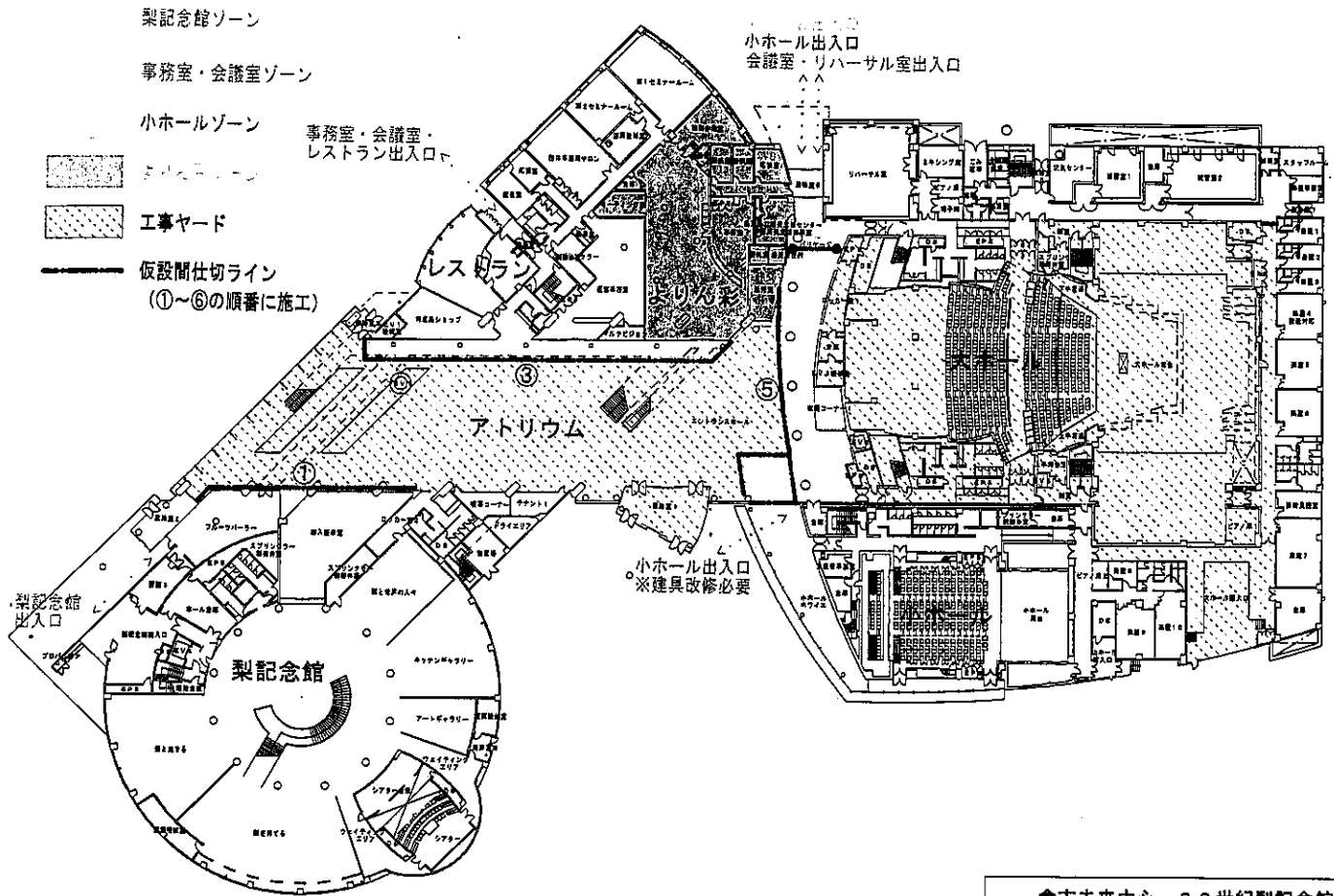
##### (2) 全館再開について

- アトリウム、大ホールを含め全館の改修工事を、平成29年2月末までに完了することを目指す。

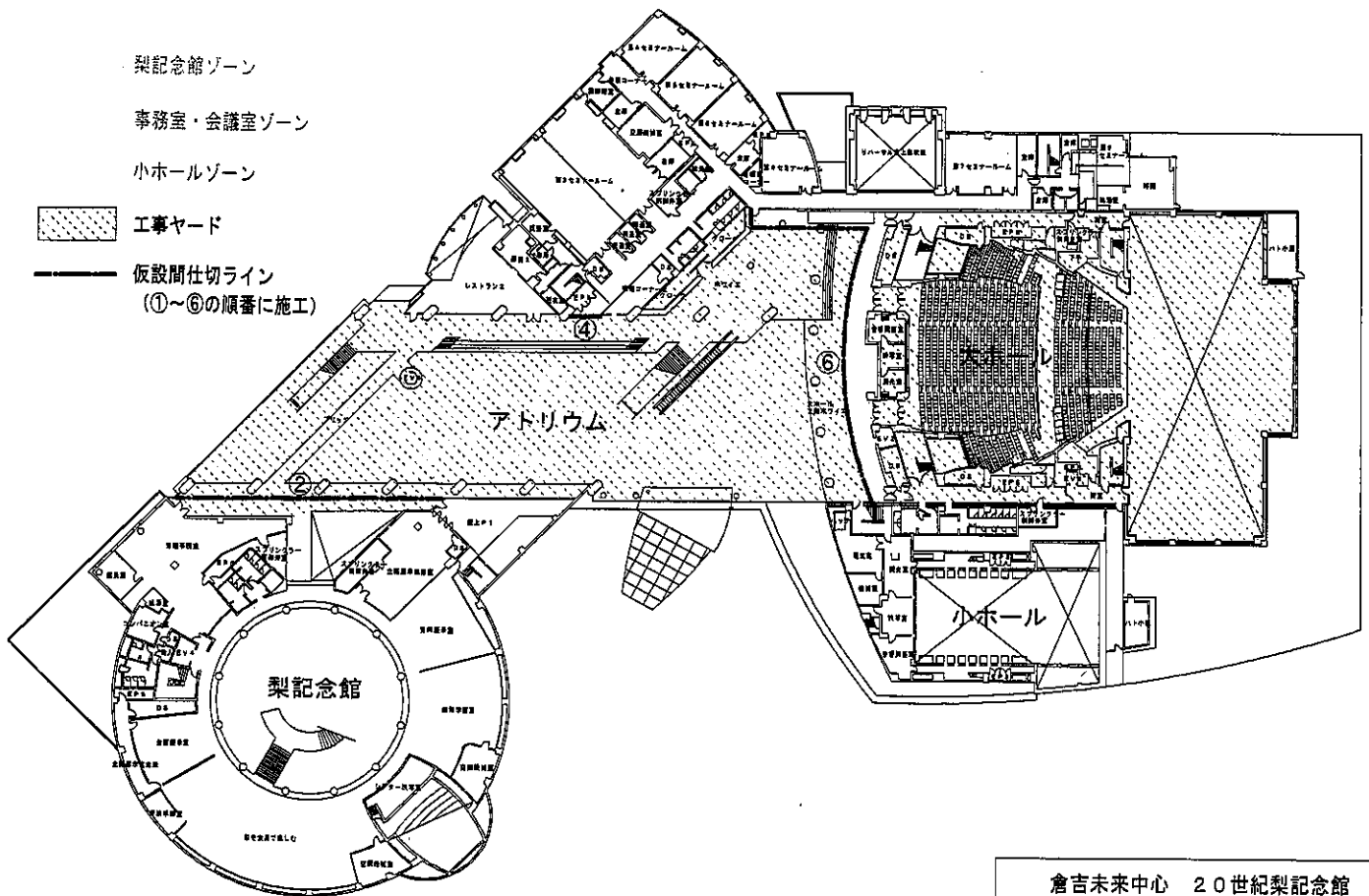
倉吉未来中心の主な被害箇所



# 倉吉未来中心の一部開館に向けた作業状況（建物関係）



倉吉未来中心 20世紀梨記念館  
1階 全体平面図



倉吉未来中心 20世紀梨記念館  
2階 全体平面図

## 第71回国民体育大会における鳥取県選手団の結果について

平成28年11月28日

スポーツ課

10月1日(土)から11日(火)までの間 岩手県で開催された第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」に参加した本県選手団の成績を含め、同大会における本県の総合成績等について報告します。

### 1 概要

#### (1) 参加者数

- ・本部役員 23名
- ・監督、選手、トレーナー 364名

#### (2) 成績

- ・正式競技41競技の鳥取県選手団獲得点 753.5点(参加得点400点、競技得点353.5点)
- ・男女総合成績(天皇杯)42位、女子総合成績(皇后杯)27位

### 2 総括

- 天皇杯42位で昨年度の40位から2位順位を下げたものの、競技得点が3年連続で300点を超えた。これは、現行の得点方式になってからは初めてである。
- ボート、山岳、自転車、セーリング、カヌー、水泳、弓道など本県の得意とする競技で順当に得点をあげた。
- 今年も山岳(高田・古川選手)、ボウリング(浦川姉妹)、ボクシング(小川・川副選手)、セーリング(池淵・福田選手)など少年勢の活躍(競技得点204.25点獲得)が目立った。
- 成年勢も奮闘し、昨年の成年の競技得点102.5点に対し、今年は149.25点と大幅に上回った。特に、カヌーの遠藤・福本選手、陸上競技の西澤選手らベテラン勢や大学生のふるさと選手が活躍した。
- 今後30位台の定着に向け、引き続きジュニア期からの一貫指導、重点強化、効果的な環境整備に努める。

### 3 年度別競技得点及び総合成績

区分	66回(H23)	67回(H24)	68回(H25)	69回(H26)	70回(H27)	71回(H28)
少年	145.0	172.5	151.5	238.0	220.0	204.25
成年	83.0	88.0	68.5	152.0	102.5	149.25
合計	228.0	260.5	220.0	390.0	322.5	353.5
総合成績	44位	44位	45位	38位	40位	42位

### 4 競技別競技得点

競技名	競技得点	入賞種目数	順位							
			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
ボート	60点	5種目				2		2	1	
山岳	54点	3種目	1	1				1		
自転車	38点	5種目	1					2		2
セーリング	31点	3種目		2						1
カヌー	29点	4種目	1	3						
ボウリング	29点	2種目	1	1						
水泳	28点	7種目		1	1		2	2		1
弓道	21点	1種目		1						
ボクシング	15点	2種目	1	1						
陸上	14点	4種目			1		2			1
レスリング	12点	3種目		1			2			
相撲	7.5点	2種目	1※				1			
空手道	5点	2種目					2			
ウエイトリフティング	4点	2種目						1		1
スキー	4点	1種目					1			
ライフル射撃	2点	1種目							1	
アーチェリー	-	1種目				1※				
合計	353.5点	48種目	6	11	2	3	10	8	2	6

※相撲(個人)とアーチェリー(個人)は競技得点に計上されない

### 5 入賞状況 別紙のとおり

## 第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」入賞者一覧

- 1 会 期 《冬季大会》 スケート・アイスホッケー競技  
 平成28年1月27日(水)～1月31日(日)  
 スキー競技 平成28年2月20日(土)～2月23日(火)  
 《会期前》 水泳競技 平成28年9月4日(日)～9月11日(日)  
 《本大会》 37競技 平成28年10月1日(土)～10月11日(火)

2 会 場 岩手県内一円

競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)	
スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	5	4	糸乗 克(鳥取城北高校)	
陸上	成年男子	110mH	3	6	西澤 真徳(鳥取県体育協会)	
		400mH	8	1	鍛冶木 峻(城西大学)	
	成年女子	走高跳	5	3	寺谷 諭美(筑波大学)	
	少年男子A	100m	5	4	坂田 育斗(県立鳥取中央育英高等学校3年)	
水泳	競泳	少年男子B	50m自由形	3	6	本田 海雅(米子北高等学校1年)
			100m平泳ぎ	5	4	本田 航平(鳥取大学附属中学校3年)
		成年女子	100m平泳ぎ	5	4	石田 華子(日本体育大学)
		少年女子A	200m平泳ぎ	8	1	落部 緋菜子(米子北高等学校3年)
	飛込	成年女子	高飛込	6	3	近藤 優妃(日本体育大学)
		少年女子	高飛込	2	7	三上 紗也可(県立米子南高等学校1年)
飛板飛込	6		3			
ボート	成年男子	ダブルスカル	6	9	古田 直輝(明治大学) 石畑 修一郎(明治大学)	
	成年女子	舵手つき クォドルプル	4	25	富田 千愛(明治大学大学院・こうほうえん) 相見 晴奈(龍谷大学) 石畑 栞奈(YMCA米子医療福祉専門学校) 林原 悠(立教大学) 高島 美晴(明治大学)	
	少年男子	シングルスカル	7	2	近藤 大樹(県立鳥取東高等学校3年)	
		ダブルスカル	6	9	久木 隆一郎(県立米子東高等学校3年) 境 凌輔(県立米子工業高等学校2年)	
	少年女子	ダブルスカル	4	15	鮫内 美里(県立米子東高等学校3年) 種田 奏子(県立米子東高等学校3年)	
	ボクシング	少年男子	ライトフライ級	1	8	小川 達也(県立境港総合技術高等学校2年)
フライ級			2	7	川副 悠河(県立境港総合技術高等学校1年)	
レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル 75kg級	2	7	前田 祐也(鳥取県体育協会)	
	少年男子	フリースタイル 60kg級	5	2.5	鳥目 翔太(県立鳥取中央育英高等学校3年)	
		グレコローマンスタイル 50kg級	5	2.5	小川 元気(県立鳥取中央育英高等学校2年)	

競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)	
セーリング	成年男子	レーザー級	2	7	瀬川 和正(鳥取県体育協会)	
	成年女子	セーリングスピリッツ級	8	3	平岡 沙希(日本経済大学)	
					西尾 知美(米子工業高等専門学校)	
少年女子	420級	2	21	池淵 砂紀(県立境高等学校3年) 福田 ゆい(県立境高等学校2年)		
ウエイトリフティング	少年男子	56kg級(スナッチ)	8	1	木村 匠(県立岩美高等学校3年)	
		56kg級(クリーン&ジャック)	6	3		
自転車競技	成年男子	スプリント	8	1	山根 将太(中央大学)	
		スクラッチ	8	1	金田 聡士(朝日大学)	
	男子	4kmチーム・パーシュート	6	9	金田 聡士(朝日大学)	
					山田 康太(京都産業大学)	
					金田 優作(中央大学)	
女子	スクラッチ	6	3	菅原 朱音(県立倉吉総合産業高等学校3年)		
				青木 瑞樹(県立倉吉西高等学校2年)		
チーム・スプリント	1	24	佐伯 亮輔(中央大学)			
			山根 将太(中央大学) 山根 慶太(県立倉吉西高等学校2年)			
相撲	成年男子	団体	5	7.5	西郷 智博(鳥取県地域振興部)	
					佐々木 耕大(鳥取県相撲連盟)	
	個人	1	-	中島 望(日本大学)		
弓道	少年女子	遠的	2	21	内田 楓(県立境港総合技術高等学校3年)	
					秋田 美南子(県立倉吉西高等学校2年) 丸岡 千秋(県立倉吉西高等学校2年)	
ライフル射撃	成年女子	10mS40W	7	2	中口 遥(同志社大学)	
山岳	成年男子	ボルダリング	6	9	高田 知堯(フロンティアスピリッツ) 高力 秀幸(鳥取大学)	
	少年女子	リード	2	21	古川 日南子(県立鳥取中央育英高等学校2年)	
		ボルダリング	1	24	高田 こころ(県立鳥取中央育英高等学校2年)	
カヌー	成年女子	スラローム K-1	25G	2	7	遠藤 絵里子(鳥取県カヌー協会)
			15G	2	7	
		ワイルドウォーター K-1	1500m	2	7	福本 かな子(県立皆生養護学校)
			スプリント	1	8	
アーチェリー	少年女子	個人	4	-	中島 由貴(県立米子南高等学校3年)	



競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名（所属）
空手道	成年男子	組手中量級	5	2.5	須田 芳広（鳥取県地域振興部）
		組手重量級	5	2.5	岡村 将広（鳥取県体育協会）
ボウリング	少年女子	個人	1	8	浦川 滯奈（湯梨浜高等学校3年）
		団体	2	21	浦川 滯奈（湯梨浜高等学校3年） 浦川 莉音（湯梨浜中学校3年）
計				353.5	

# 第16回全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について

平成28年11月28日  
ス ポ ー ツ 課

10月22日(土)から24日(月)までの間、岩手県で開催された第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」に参加した本県選手団の成績について報告します。

## 1 概 要

### (1) 参加者数

- ・本部役員 6名
- ・役 員 19名(正式競技16名、オープン競技3名)
- ・選 手 34名(正式競技25名、オープン競技9名)

### (2) 獲得メダル数

- ・金メダル 7個 種目：陸上5個、水泳1個、フライングディスク1個
- ・銀メダル 7個 種目：陸上2個、水泳3個、卓球1個、フライングディスク1個
- ・銅メダル 4個 種目：陸上2個、卓球1個、フライングディスク1個

## 2 総 括

メダル獲得率は58%で、目標としていた60%(鳥取県スポーツ推進計画)に惜しくも届かなかったが、全体としては県強化指定選手の大会新記録、少年世代の自己ベスト更新など、今後の活躍が期待できる内容。

- ・県強化指定選手の前島博之(ひろゆき)選手は、陸上競技走高跳で自己の持つ大会記録(186cm)を6cm更新して192cmで金メダル獲得。
- ・森田海斗(もりたかいと/白兔養護学校/陸上競技50m・立幅跳)・石橋真治(いしばししんじ/琴の浦高等特別支援学校/陸上競技ソフトボール投・50m)・渡飛雅(わたりがすが/米子養護学校/陸上競技走幅跳・50m)・吉田隼人(よしだはやと/琴の浦高等特別支援学校/水泳25m 50m自由形)・川口梨央(かわぐちりお/北中学校/陸上競技走幅跳・100m)選手は、出場したすべての種目で自己新。特に、川口梨央選手は、初出場ながら走幅跳で金メダル、100mで銅メダルを獲得した。

## 3 メダル内訳等(正式競技)

( )は昨年和歌山大会

出場競技	出場者数	出場種目数 (延べ)	メダル数				
			金	銀	銅	合計	
個人 競 技	陸上競技	8 (8)	17 (19)	5 (4)	2 (5)	2 (1)	9 (10)
	水 泳	2 (2)	4 (4)	1 (2)	3 (0)	0 (2)	4 (4)
	アーチェリー	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)
	卓 球	2 (3)	2 (3)	0 (1)	1 (2)	1 (0)	2 (3)
	フライングディスク	3 (2)	6 (4)	1 (0)	1 (2)	1 (0)	3 (2)
	ボウリング	1 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
バレーボール(聴覚男)	9 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	25 (26)	31 (33)	7 (7)	7 (10)	4 (3)	18 (20)	

※個人競技への参加は、1人2種目以内(リレーを除く)

※陸上の出場種目数には、4×100メートルリレーを含む。

# 関西ワールドマスターズゲームズ2021開催競技決定について

平成28年11月28日  
スポーツ課

関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催競技種目・会場が10月26日の組織委員会の理事会・総会で決定し、本県では、本県発祥のグラウンド・ゴルフをはじめ、4競技5種目の開催が決定しました。

## 1 ワールドマスターズゲームズとは

国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が4年毎に主催し、概ね30才以上の成人・中高年の一般アスリートが参加する世界最高峰の生涯スポーツの国際総合競技大会。オリンピックの翌年に開催され、第10回大会がアジアで初めて関西で開催する。

## 2 関西ワールドマスターズゲームズ2021大会概要

- (1) 開催期間 平成33年5月15日（土）～30日（日）（16日間）
- (2) 開催場所 鳥取県等を含む関西地域（開会式：京都市、閉会式：大阪市）
- (3) 開催競技 32競技55種目
- (4) 参加目標 約5万人（国内3万人、国外2万人）
- (5) 主催 一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会  
※関西広域連合が大会を誘致したもので、大会の開催準備を進めるため、平成26年12月に「一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会」を設立。

## 3 本県開催競技

以下の4競技5種目を開催決定。

競技名	市町	会場	備考
アーチェリー（ターゲット）	鳥取市	コカ・コーラウエストスポーツパーク	
自転車（トラック）	倉吉市	倉吉自転車競技場	
自転車（ロードレース）		倉吉高城ロードレースコース	
柔道	米子市	県立武道館	
グラウンド・ゴルフ	湯梨浜町	グラウンド・ゴルフのふる里公園 「潮風の丘とまり」	オープン競技開催（記録はIMGA参考記録、メダルは大会独自メダル）

## 4 今後の予定

- ・平成29年4月に、開催市町、競技団体、県体育協会、県等で構成する県実行委員会を設立し、大会開催準備を進める。
- ・本県発祥のグラウンド・ゴルフをはじめとする開催競技への参加促進を図るため、平成29年4月にニュージーランドで開催されるWMGオークランド大会で、競技デモンストレーション等各種PRを行う。

## 2019レーザー級世界選手権大会の開催決定について

平成28年11月28日  
スポーツ課

11月19日からイギリスで開催された国際レーザークラス協会ワールドカウンシル会議で、レーザー級世界選手権大会の開催地に境港が正式決定しました。

11月21日、日本セーリング連盟会長他関係者が集い、世界選手権開催決定祝賀式典を開催しました。

### 1 大会開催概要

- (1) 時期 平成31年7月～8月に約3週間
- (2) 会場 境港公共マリーナ（境港市新屋町）及び美保湾洋上
- (3) 参加数 レーザー級スタンダード（男子）160艇、レーザー級ラジアル（女子）120艇
- (4) 主催 日本セーリング連盟、国際レーザークラス協会、日本レーザークラス協会、鳥取県セーリング連盟

### 2 大会誘致経緯

時期	内容
平成26年 3月	日本オリンピック委員会が境港公共マリーナをセーリング競技強化センターに認定
平成27年 9月	境港公共マリーナにセーリング新艇庫完成
平成28年 3月	2019レーザー級世界選手権大会の境港開催が内定
平成28年11月	国際レーザークラス協会ワールドカウンシル会議で境港開催が正式決定

### 3 祝賀行事概要

(1) 日時 11月21日（月）午後2時30分～3時

(2) 場所 境港公共マリーナ新艇庫（境港市新屋町）

(3) 出席者

《競技団体》	鳥取県セーリング連盟会長	安田 優子
《関係自治体》	鳥取県知事	平井 伸治
	境港市市長	中村 勝治
《関係団体》	鳥取県体育協会会長	油野 利博
《競技者代表》	鳥取県体育協会体育指導員	瀬川 和正
	米子工業高等専門学校	増田 美悠
《来賓》	日本セーリング連盟会長	河野 博文
	日本レーザークラス協会会長	加藤 重雄
《漁業関係者》	鳥取県漁業協同組合組合長	景山 一夫
《施設管理》	境港管理組合事務局長	細羽 正

(4) 内容

- ①開催決定報告（安田会長）
- ②祝賀イベント（くす玉開き）
- ③平井知事挨拶・中村市長挨拶
- ④来賓挨拶（河野会長・加藤会長）
- ⑤大会成功に向けての決意表明（瀬川選手・増田選手）
- ⑥記念撮影

### 4 今後の予定

平成29年度中に県セーリング連盟、境港市と大会実行委員会を設立し、大会開催に向けた準備を進めます。

# 本県ゆかりのスポーツ選手による被災地応援メッセージの展示について

平成28年11月28日  
スポーツ課

10月31日、鳥取市内でのパレードのため来県された大相撲の横綱白鵬関、石浦関、山口関、11月3日、「第6回ダッシュ王決定戦」のため来県されたリオ五輪陸上日本代表の福島千里選手より、鳥取県中部地震の被災地応援メッセージ色紙をいただきました。

この応援メッセージ色紙は、11月2日から県庁本庁舎表玄関に展示した後、11月14日から、被災地の皆様に御覧いただけるよう、中部総合事務所地域県民室で展示しています。

## 1 展示場所

中部総合事務所1階 地域県民室（倉吉市東巖城町2）

## 2 展示期間（予定）

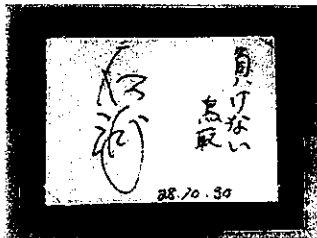
11月14日（月）から当面の間

## 3 展示内容

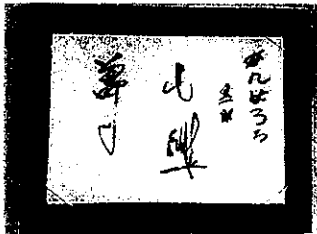
応援メッセージ色紙4枚

- ・相撲：横綱白鵬関、石浦関（九州場所 新入幕）、山口関（同 再十両）
- ・陸上：福島千里選手（陸上女子100m・200m日本記録保持者）

※応援メッセージ色紙贈呈式の写真や、パレードで使用したオープンカーに取り付けた横断幕「被災地の復興を応援しています “がんばろう鳥取”」（3力士のサイン入り）も展示しています。



石浦関「負けない鳥取」



白鵬関「がんばろう鳥取・夢」



中部総合事務所地域県民室での展示



福島選手「頑張ろう鳥取」



山口関「元気鳥取!!」

## 4 参考

### (1) 石浦関新入幕パレードについて

鳥取市出身で鳥取城北高校OBの石浦関が、鳥取県出身力士として53年ぶりに新入幕を果たしたことから、10月31日、鳥取城北高校主催によるパレードが、県庁から鳥取駅にかけて行われたものです。（横綱白鵬関、山口関（再十両、鳥取城北高校OB）も参加）

### (2) 第6回「ダッシュ王」決定戦 in 鳥取について

30mダッシュNo. 1を決める大会として、福島千里選手をゲストにお招きし、11月3日にコカ・コーラウェストスポーツパーク陸上競技場で開催されたものです。

同選手が最初に100mの日本新記録を出したのは、2009年、同競技場で開催された「布勢スプリント」です。

# リオパラリンピック競泳銀メダリスト木村敬一選手の講演会等の開催について

平成28年11月28日  
スポーツ課

障がいのある子ども等へ、夢と希望を与えるとともに、障がい者スポーツへの理解を促進し、2020東京パラリンピックに向けた、障がい者スポーツ振興の機運醸成を図るため、パラリンピアンとの交流事業として、リオパラリンピック競泳銀メダリストの木村敬一選手による講演会と水泳交流会を開催しました。当日は、障がいの有無に関わらず多くの方が参加されました。

## 記

### 1 講師

木村 敬一（きむら けいいち）氏

1990年9月、滋賀県生まれ。生まれつき全盲。10歳で水泳を始める。東京ガス所属

・2016年リオデジャネイロパラリンピック

50m自由形銀メダル、100mバタフライ銀メダル、100m平泳ぎ銅メダル、100m自由形銅メダル

### 2 日時・場所

11月23日（水・祝）

講演会：午前10時～11時、とりぎん文化会館 第1会議室

水泳交流会：午後1時30分～3時、県営鳥取屋内プール

### 3 内容

#### (1) 講演会

《内容》「パラリンピックと私」

水泳を始めパラリンピック出場までの周囲のサポート、練習、パラリンピックでの逸話、視覚障がい者競泳ルールや道具の紹介など

《参加者》190名

#### (2) 水泳交流会

《内容》

木村選手によるデモンストレーション、ブラインド水泳・タッピング体験、交流リレー等

《参加者》30名（小中高生15名、一般15名）うち障がい者14名

### 4 参加者の感想等

- ・パラ水泳について分かりやすく楽しく話をしていただき、パラリンピックや障がい者スポーツに興味がわいてきました。
- ・普段聞くことのできない貴重な話が聞けてとてもよかった。メンタル面など同じ水泳競技者として参考になる話が聞けた。
- ・ブラインドでは泳ぐのが難しく、見えなくても泳げるのはすごいと思った。
- ・一緒にリレーするなど普段できない体験であった。またこのような交流会があればぜひ参加したい。
- ・メダルを見せてもらい、振ると音が鳴ることを初めて知った。生の音が聴けて感激です。

